中南部

うまんちゅぬ　くくるむち　ちたゆる　くとぅば。
みんなの気持ちを伝える言葉。

しまくとぅばには，私たちの気持ちを表す言葉が数多くあります。中でも「ちむ」は，心の意味で多く使われており，沖縄の人々の優しさを表しています。「ちむ」のつく言葉には，どのようなものがあるか調べてみましょう。

ちむぢゅらさん。
心が清らか。

ちむがなさん。
心からかわいく思う。

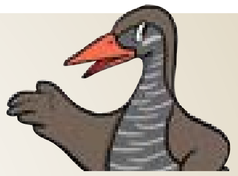
ちむふじゅん。
心が満ち足りる。

ちむいちゃさん。
心が痛む，かわいそう。

※他にも「ちむしからーさん（心さびしい）」「ちむやむん（心が痛む）」「ちむわさわさーすん（胸さわぎがする，心が浮き立つ）」「ちむのーいん（機嫌が直る）」など，たくさんあります。

北部

わね　むんどぅりぬ　くくるむち　ちてーる　くとぅわ。



きむぢゅらはん。
心が清らか。

きむがなはん。
心からかわいく思う。

きむ　ふぃじゅん。
心が満ち足りる。

きむ　やみん。きむぐろはん。
心が痛む，かわいそう。

きむしからはん。
心さびしい。

きむ　さーさすん。
胸騒ぎがする。

きむ　のーいん。
機嫌が直る。

メモ

宮古

ばんたがー　んーなが　きぅむ　あらーしぅ　くとぅば。

きぅむ　やぱ。　心やさしい。

きぅむぬ　すくから　かなしぅっさてぃどぅ　うむいぅ。
心からかわいく思う。

きぅむ　んてぃーんてぃ。
心が満ち足りる。

きぅむぬどぅ　やむ。ちぅんだらーしぅ。
心が痛む。かわいそう。

きぅむさがい。
（きぅむ　さびぅしぅむぬ）
心さびしい。

きぅむ　やむ。　心が痛む。

んみ　とぅとぅみきぅ。
胸騒ぎがする。

きぅむ　のーいぅ。
機嫌が直る。

八重山

ばがだー　けーらぬ　うむいゆ　つたいる　くとぅば。

きぅむぬ　やふぁさーん。
心やさしい。

きぅむから　かなさーん。
心からかわいく思う。

きぅむ　ふぎるん。　心が満ち足りる。

きぅむんぐりしゃーん。
かわいそうである。

きぅむしかさーん。
心さびしい。

きぅむぬ　やむん。　心が痛む。

きぅむあーりぅ，きぅむさわぎぅ。
胸騒ぎがする。

きぅむ　のーすん。
機嫌を直す。

与那国

ばんた　ぶーるぬ　くぐるむてぃ　とぅんきる　くとぅば。

くぐる　なだやしく。　心やさしい。

くぐるがら　あたらき　うむい。
心からかわいく思う。

ちむ　んてぃ　たらし。
心が満ち足りる。

ちむ　だーみ，ちむりさ。
心が痛む，かわいそう。

ちむ　さびっつぁー。
心さびしい。

ちむ　だーみ。　心が痛む。

ちむ　ささらんてぃ。
胸さわぎがする。

きんがい　ぬい。
機嫌が直る。

中南部

うた　ちゅくてぃ　んーら。
歌（琉歌）を作ってみよう。

ここで，うたとは琉歌のことをいいます。琉歌とは８・８・８・６音のリズムを持った歌のことで，古くから沖縄の人々に親しまれ，歌い継がれてきました。

わったー　しまんかい　ちたーっとーる　うた　しらびてぃ　んーら。
私たちの故郷に伝わっている歌（琉歌）を調べてみよう。

例えば，小さいころによく歌っていた「てぃんさぐの花」の歌詞も琉歌で，８・８・８・６音の形式になっています。

てぃんさぐぬ はなや（８音）　ちみさちに すみてぃ（８音）
うやの ゆしぐとぅや（８音）　ちむに すみり（６音）

みなさんも，自分の地域のことを歌っている琉歌を調べて，自分でも作ってみませんか。

まじぇー　うたぬ　碑　とぅめーてぃ　んーら。
まずは琉歌碑を探してみよう。

北部（久志）　うた　とぅくてぃ　んだー。

いが　しまけ　ぬくとぬ　うた　しらびてぃ　んだー。
私たちの故郷に伝わる歌（琉歌）を調べてみましょう。

まじや，うたぬ　ふぃー　とぅめーてぃ　んだー。
まずは，歌の碑文を探してみましょう。

メモ

<一口メモ>

琉歌とは，ヤマトで作られる５・７・５・７・７音のリズムで作られる和歌（短歌）に対して呼ばれる，沖縄独特の歌の形です。基本的には８・８・８・６音のリズムで歌われており，サンパチロクと呼ばれます。８音というのは，なじみがないように思われますが，しまくとぅばだと，しっくりくるリズムなのです。また，琉歌は単に歌をよむだけではなく，三線などに合わせたメロディーに乗せて歌われるのが大きな特徴です。

古典音楽や民謡なども，この琉歌のリズムで歌われることが多いので，身近な歌を調べて琉歌のリズムを楽しんでみてはいかがでしょうか。りっか　うた　ちゅくてぃ　んーら。（さあ，琉歌を作ってみよう。）

北部

いじゅぬ　きぬ　はなや　あん　ちゅらさ　さちゅい
（伊集の木の花や　あんきょらさ　咲きゆり）
わぬん　いじゅ　やとぅてぃ　ましら　さかな
（わぬも伊集のやとて　真白咲かな）

～読み人知らず～

意）伊集の木の花は，あんなにもきれいに咲いている。
私も伊集の木の花のように，真っ白にきれいに咲きたいものだ。

中部

ふばな　さち　でぃりば　ちり　ふぃじん　ついかぬ
（穂花咲き出れば　ちりひじもつかぬ）
しらちゃにや　なびち　あぶし　まくら
（白ちゃねやなびき　あぶしまくら）　～赤犬子～

意）稲の穂花が咲き出すと，ちりや泥一つつかずによく育ち，豊かに実った稲穂は，大粒の実を支えきれずにあぜを枕にしている。赤犬子は約400年前の人で，三線で歌を始めた人だといわれている。彼は三線もうまく美声の持ち主でもあり，予祝（願い）の歌を得意とし，各地を渡り歩いてうたったといわれている。この琉歌も稲の豊作を願った予祝の歌なのである。

南部

あしみじゅ　ながち　はたらちゅる　ひとぅぬ
（汗水流ち　働ちゅる人ぬ）
くくる　うりしさや　ゆすぬ　しゅみ
（心　うれしさや　他所ぬ　知ゆみ）　～中本稔～

意）汗水を流しなら，一生けんめい働く人の，その心に感じる喜びは，働かない者にはわからないだろう。この歌は1928年，沖縄県が働く喜びを詞を募集したところ，具志頭郵便局長であった中本稔の歌詞が当選したものである。

宮古 ばんたが　しぅまぬ　あーぐう まーちぅき　つっ゜あ。

私たちの故郷の歌を，一緒に作りましょう。

ばんたが　しぅまん　んきゃーんから　あいぅ　あーぐう　しらびみー。
私たちの故郷に伝わる歌を調べてみよう。

まっざー　あーぐぬ　ひぶんぬ　とぅみみー。
まずは，歌の碑文を探してみよう。

<なりやまあやぐ>
サー　なりやまや　なりてぃぬ　なりやま
すぅみやまや　すぅみてぃぬ　すぅみやま
イラユマーン　サーヤーヌ　すみてぃぬ　すみやま

宮古を代表する民謡のひとつ「なりやまあやぐ」の一番の歌詞です。その意は，「慣れているヤマへ行っても染まって（油断）してはいけませんよ」と教訓的な歌詞となっています。

八重山 ばがーしぅま　うた　まーぞん　ちゅくららー。

私たちの故郷の歌を，一緒に作りましょう。

ばがーしぅま　うた しらびらー。
私たちの故郷に伝わる歌を調べてみましょう。

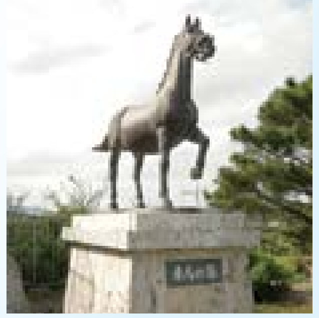
まじぅ　うた　ぴむん とぅめーむら。
まずは，歌の碑文を探してみましょう。

<赤馬節>
赤馬ぬ　いらすさ　（赤馬の，ああ　うらやましいことよ）
足四ちゃぬ　どぅきにゃく　（足四ちゃ（赤馬）の冥加なことよ）

生りるかい　赤馬　（生まれる甲斐ある　赤馬よ）
産でぃるかい　足四ちゃ　（育てる甲斐のある　赤馬よ）

沖縄主に　望まれ　（琉球国王に望まれ）
主ぬ前に　見のうされ　（琉球国主のお召馬になった）

いらさにしゃ　今日ぬ日　（ああ　よろこばしい　今日の日よ）
（ヒアールガヒ）
どきさにしゃくかに日　（とてもうれしい　黄金の日よ）
（ヒアールガヒ）
羽生いるだきだら　（羽が生えて飛び立つくらい　うれしいよ）



与那国 ばんた　ちまぬ　うた，まどぅん　つくいんだぎ。

私たちの故郷の歌を，一緒に作りましょう。

ばんた　ちまに　ちたわる　うた　ちらびんぬー。
私たちの故郷に伝わる歌を調べてみましょう。

までぃや，うたぬ　ひむん　みきんぬやー。
まずは，歌の碑文を探してみましょう。

<どなんスンカニ>
一．ゆなぐにぬ　なさぎ　いくとぅばどぅ　なさぎ
　　ぬてぃぬ　ある　あいや　とぅやい　しゃびら
（与那国の情　言う言葉が情
　命のある間はおつきあいしましょう）

三．なんたはま　うりてぃ　むちゃる　さかじきや
　　みなだ　あわ　むらし　ぬみぬ　ならぬ
（波多浜下りて　持った盃は
　涙泡盛らし　呑むことが出来ない）

二．ゆなぐにぬ　とぅけや　いきぬ　みじぐくる
　　くくぅる　やしやしとぅ　わたてぃ　いもり
（与那国の渡海は池の水心
　心安々と渡っていらっしゃい）

<一口メモ>

宮古や八重山・与那国の三つの地域には，多くの優れた歌が歌い継がれています。しかし，どちらも同じ分野の歌が伝わっているのではなく，それぞれに特徴があります。

宮古は「歴史の島・伝説の島」と呼ばれていることからわかるように，歴史的な事実や事件を，ありのままに壮大に歌い上げた歌謡が特徴です。

八重山・与那国は，「詩の国・歌の国」と呼ばれているように，たくさんの歌がよまれ，歌い継がれてきました。その中には，自然を大らかに歌い上げているものや，恋心など自分の感情を素直に歌い表したもの，歴史的なことを歌ったものなどがあります。

自分たちのしまくとぅばで，自分たちのシマの歌を味わってみることもいいでしょう。

↑とうがにあやぐ歌碑（宮古）

琉歌を楽しもう

琉歌とは，琉球の歌または，琉球歌謡の略語で，うたわれる形式によって長歌，短歌，仲風，つらねなどに分けることができます。その中で，もっとも好まれた形式が短歌で，普通に琉歌という場合は，この短歌を指していると考えてよいでしょう。

短歌は，８・８・８・６音の 30 音形式になっています。例えば，小さいころによく歌っていた「てぃんさぐの花」の歌詞も琉歌で，８・８・８・６音の形式になっています。

てぃんさぐぬ　はなや（８音）　ちみさちに　すみてぃ（８音）
うやの　ゆしぐとぅや（８音）　ちむに　すみり（６音）

琉歌は，昔の人々から今の人々に受け継がれ，現在でもさかんにうたわれています。

ここでは，歌碑に刻まれるなど，人々に親しまれてきた琉歌をいくつか紹介します。

↑恩納ナベの琉歌が刻まれた歌碑

うんなだき　あがた　さとぅが　〻んまりじま
（恩納岳あがた　里が生まれ島）
むいん　うしぬきてぃ　くがた　なさな
（もりもおしのけて　こがたなさな）
～恩納ナベ～

意）　恩納岳の向こう側は，いとしいあなたの生まれた村である。山をおしのけてその村をこちら側に引き寄せたい。恋をする女性の恋人を想う激しい心が，恩納岳という不動の自然をも動かしそうな力で迫ってくる様が感じとれる。

なみぬ　くいん　とぅまり　かじぬ　くいん　とまり
（波の声も止まれ　風の声も止まれ）
しゅゆい　てぃんじゃなし　みうんち　をぅがま
（首里天がなし　みおんき拝ま）
～恩納ナベ～

意）　波の声も止まれ，風の声も止まれ，すべてのもの よ静まれ。さぁ，みんなして国王をお迎えし，拝もうではないか。万座毛に立ち寄った琉球国王をたたえた歌である。岸壁に砕ける波の音に止まれと命じ，松にさわぐ風に止まれと命じる。作者の気迫が感じられる。

↑恩納ナベの琉歌が刻まれた万座毛の歌碑（裏に歌詞が刻まれている）

うんな　まつぃしたに　ちじぬ
ふぇぬ　たちゅし
（恩納松下に　禁止の碑の立ちゅす）
くい　しぬぶまでぃぬ　ちじや　ねさみ
（恋忍ぶまでの　禁止やないさめ）
～恩納ナベ～

意）　恩納番所前に松の木があり，その下に禁止令を書いた高札が立っていることよ。まさか，恋をするなという禁止はないだろう。農村の希少な娯楽であった伝統的な遊び（シヌグ）が，首里王府によって禁止された事に対して，自由ほんぽうなナベが人間の自然のあらわれとしての恋愛を禁止するものではないと嘆いた歌である。

メモ

<一口メモ>」 －女流歌人「恩納ナベ」と「よしや」－

数多い歌人の中でも，たくさんの人々に親しまれている「恩納ナベ」と「よしや」は，琉歌の二大女流歌人といわれています。

恩納ナベは，18 世紀の前半，尚敬王時代（1713～51 年）の人だといわれている伝説の歌人で，今の恩納村の恩納岳のふもとに生まれたといわれています。

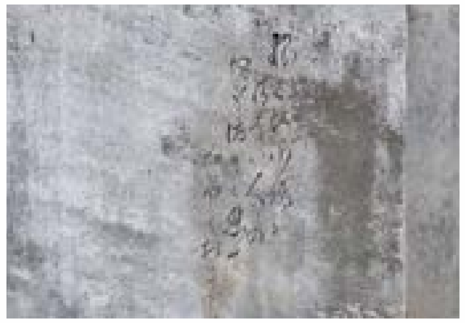
よしやは，1650 年，今の読谷村に生まれ 1668 年に没したといわれている伝説の歌人で，短い 18 年の生涯であったと伝わっています。幼くして遊郭に身売りされますが，その境遇の中で和歌の影響を受けたすぐれた恋の歌を多く残しました。

恩納ナベの歌には対象に強く働きかけるほんぽうさが感じられ，よしやの歌には恋の歌に限らず，悲しく切ない気持ちをこめた歌が多く見られます。

うらむ　ひじゃばしや　なさき　ねんふぃとぅぬ
（うらむ比謝橋や　情けない人ぬ）
わん　わたさ　とぅむてぃ　かきてぃ　うちゃら
（わぬ渡さともて　かけておきゃら）
～よしや～

意）　うらめしい比謝橋は，私を渡そうと思って，情けを知らない人がかけておいたのだろうか。

「うらむひじゃばしや　わんわたさとぅむてぃ　なさけねんふぃとぅぬ　かきてぃうちゃら」とも歌われています。



うゆばらぬ　とぅみば　うむいます　かがみ
（及ばらぬとめば　思ひ増す鏡）
かじやちょん　うちゅち　をぅがみ　ぶしゃぬ
（影やちやうもうつち　拝みぼしやの）
～よしや～

意）　とうてい及ばない身の恋と思うと，かえって思いがつのってくる。せめて，あの人の面影だけでも鏡に映して，お姿を見たい。伝説では，よしやの恋の相手は士族で正妻がいる人で，遊女であるよしやとは身分が違いすぎたために，及ばぬ恋のはかなさとつのる想いをあらわした歌となっている。

うどぅるくな　あささ
くわゆんでぃや　あらん
（おどろくなあささ　食はゆんでやあられ）
ちむがなしゃ　あてぃどぅ
だちゃ　んちゃる
（肝かなしやあてど　抱きや見ちやる）
～よしや～

意）　蝉よ鳴いてくれるな，お前を取って食おうというのではない，心底かわいいと想うから手に取って抱いてみただけだよ。
人間によってどうにでもされる弱い存在の蝉に，悲しい境遇の自分を見てしまう作者の気持ちが読み取れる歌である。よしやが蝉に呼びかける声には切ないものが感じられる。

琉歌を楽しもう２

琉歌は，国王や政治家，文学者，遊女，農民にいたるまで，いろいろな階層の人々がよみ，うたい親しんでいます。うたわれている内容も様々で，政治家としての信念をよみ込んだ歌。恋の歌もあれば，自分ではどうにもならない身上を嘆いた歌もあります。

他にも，豊作を祈ったり，人々の願いを歌にこめるなど，人々の心の中からにじみ出てきた心情が，そのまま琉歌の中にうたいこめられています。

ふみらりん　しかん　すしらりん　しかん
（ほめられも好かぬ　そしられも好かぬ）
うちゆ　なだやしく　わたいぶしゃぬ
（浮世なだやすく　渡りぼしやの）
～名護親方寵文～

意）　ほめられることも好まない。悪く言われることもさけたい。人生はただ平穏無事に過ごしたいものだ。

名護親方（1663 ～ 1734 年）は，唐名を程順則といった。儒教を通して教育の普及に力を尽くし，品位と徳が高かったので，名護聖人と呼ばれた。すぐれた人物の人生上の一つの態度として，次の蔡温の歌とよく比較され論じられる。

蔡温が描かれた切手→

ふまり　すしらりや　ゆぬなかぬ　ならい
（ほまれそしられや　世の中の習ひ）
さたん　ねん　むぬぬ　ぬ　やく　たちゅが
（沙汰もないぬ者の　何役立ちゆが）
～具志頭親方文若～

意）　ほめられることや悪口を言われることは，世間ではよくあることで気にすることはない。世に取りざたされることもない人が，どうして世の中の役に立つことが出来ようか。

具志頭親方（1682 ～ 1761 年）は，唐名を蔡温といい，尚敬王の時代の三司官として政治や経済・産業に大きな力を発揮した。蔡温と程順則は同じ時代に活躍した人物だが，その時代の琉球は薩摩の支配下にあり，財政的に苦しい時代であった。同時代に生きた二人の性格が対照的であるのがおもしろい歌である。

なぐぬ　うふがにく
（名護の大兼久）
うま　はらち　いしょしゃ
（馬走らち　いしょしや）
ふに　はらち　いしょしゃ
（舟はうち　いしょしや）
わ　うらどぅまい
（わ浦泊）

意）　名護の大兼久にある馬場で，馬を走らせるうれしさよ。

名護の海で，舟を浮かべることのうれしさよ。

※名護の人々が，馬を走らせたり，舟で遊んだりすることの喜びをあらわしている歌である。

メモ

きゆぬ　ふくらしゃや　なうぅにじゃな　たてぃる
（今日のほこらしやや　なをにぎやなたてる）
ちぶでぃ　をる　はなぬ　ちゆ　ちゃたぐとぅ
（つぼでをる花の　露きやたごと）
～読み人知らず～

意）　今日のうれしさを何にたとえようか。まるでつぼんでいる花が露に出会い，開花する時のよろこびそのものだ。

この歌では，花が露と出会うことによって，開花することを最上のよろこびとして，たとえに用いている。露が花にかかる清らかな姿への感動も素朴なよろこびに満ちている。「かぎやで風」の音曲にのせて，祝い事一般においてうたわれる。

じゃじち　いたびしに　うちゃい　ふぃく　なみぬ
（謝敷板干瀬に　うちやり引く波の）
じゃじち　みやらびぬ　みわれ　はぐち
（謝敷めやらべの　目笑ひ歯茎）
～読み人知らず～

意）　謝敷の海岸の板干瀬に寄せたり引いたりしている波は，謝敷の娘たちが笑いざわめいているときの口元の，あの白い歯ならびを想わせる。

謝敷（国頭村）の景観の美しさをいうと同時に，村の娘たちの美しさもたたえた，いわば土地ぼめの歌である。そこには自然と一体となった精神を見ることが出来る。

からや　ちじ　ぬぶてぃ　まふぇ　んかてぃ　みりば
（瓦屋つぢのぼて　真南向かて見れば）
しまぬらどぅ　みゆる　さとぅや　みらん
（島の浦ど見ゆる　里や見らぬ）
～読み人知らず～

意）　瓦屋（瓦を焼く地域に対する呼称）の丘の上に登って，南の方を見ると，村の風景が見えるだけで，いとしい人の姿は見えない。朝鮮人の陶工が帰化して瓦製造をしたとき，夫がいる美女を見初め妻とした。無理に引きさかれた女は，故郷の夫を想いこの歌を読んだといわれている。

<一口メモ>　－読み人知らず－

琉歌の作者としては，読み人知らずとなっているものが圧倒的に多く，『琉歌全集』には 3000 首の琉歌が収録されていますが，そのうち作者が明記されているものは 1315 首で，300 人ほどの作者がいたことが分かっているとのことです。

一般的に，読み人知らずの歌は風土性が豊かでおおらかで素朴であるのに対し，士族の歌は，観念的，技巧的で和歌文学の影響が多く見られる歌が多いといわれます。

中南部

「走れめろすー」なーふぁくとぅばさーに　かちーね。
『走れメロス』を那覇言葉で書いてみると。

みなさんが，授業で使う教科書。その教科書に収録されている作品もしまくとぅばで表現することができます。このページでは，ずっと以前からみなさんに親しまれている『走れメロス』をしまくとぅばで表現してみました。教科書に掲載されている原文と引き合わせて，しまくとぅばならではの世界を楽しんでみましょう。

めろそー　れーじな　わじとーん。かんなじ，あぬ　邪知暴虐(じゃちぼうぎゃく)ぬ　をー
とぅっているきらんとー　ならんり　うみちちゃん。めろすねー　せいじぇー　わからん。
めろそー，むらぬ　牧人(ぼくじん)る　やる。笛ふち，ひちじとぅ　あしろーてぃ　くらちょーたん。
やしが　邪悪んかいてーしてー，ふかぬちゅやかー　れーじな　敏感(びんかん)やたん。

メロスは激怒した。必ず，かの邪知暴虐の王を除かねばならぬと決意した。メロスには政治がわからぬ。メロスは，村の牧人である。笛を吹き，羊と遊んで暮らしてきた。けれども邪悪に対しては，人一倍に敏感であった。

ふぃちゅいぬ　ゐなぐわらび，あかさるマント　めろすんかい　ぬしきたん。
めろそー　とぅぬーまぬー。いぃーるしぇー　ちー　ちかさーに　ならーちゃん。
「めろす，ᶜやーや，まるはらか　えーさに。ふぇーく　うぬマント　ちーしぇー　まし。
くぬ　すーらさる　ゐなぐわらべー，めろすぬ　はらか，んーなんかい　んーらりーしぇー，
いっぺー　はじかさんり　うむたん。」いじじゅーや　じこー　あかじらーなたんり。

ひとりの少女が，緋のマントをメロスにささげた。メロスはまごついた。良き友は，気を利かせて教えてやった。
「メロス，君は，真っ裸じゃないか。早くそのマントを着るがいい。このかわいい娘さんは，メロスの裸体を，皆に見られるのが，たまらなくくやしいのだ。」勇者は，ひどく赤面した。

太宰治著『走れメロス』青空文庫参考

北部　『はしれメロス』くしくとぅわち　かち　んだー。

メロスや　でーじな　わじたん。かんなどぅ，あぬ　邪知暴虐ぬ　王ぬ　ぬち
とぅらんなね　ならんでぃち　きみたん。メロスや　政治や　わからん。メロスや，
村ぬ　牧人　いぇーたん。ふぁんそー　ふち，羊とぅ　あすでぃ　くらち　ᶜちゃん。
いぇーすが，邪悪にちきてぃや　ちゅーいちべー　敏感　いぇーたん。

ちゅいぬ　ゐなぐわらゐぬ　あかぬ　マントー　メロスけ　さしいじゃちゃん。
メロスや　うどぅるちゃん。どぅしや　きー　ちかてぃ　ならーちゃん。
「メロス，ᶜやーや，まるばい　しちょん。ふぇーく　マントー　きれー。うぬ
ちゅらはぬ　ゐなぐんぐゎや　メロスぬ　まるばい　むぬけ　みらりすが，
でーじな　ふぁどぅこはん。」勇者や　でーじな　あかどぅら　なたん。

メモ

宮古　「走れメロス」っう　みやーくᶠうちぅっし　かき　みーちぅかー。

めろっさ　んにゃ　ばたー。ᶠうさりゅーたいぅ。かならず，かぬ　やなざいぴぅとぅ　だまがらす　おーゆばー，ぷか　なさだかー　ならんてぃ　きみたいぅ。
めろすんな　せいじやー　すっさいん。めろすっさ　さとぅぬ　ぼくじんどぅ　やいぅ。
ぴーや　ᶠうき　ぴっとぅ　あすぴいぅ　くらしどぅ　きぅしぅたいぅ。あしぅがどぅ
やなざい　ぐとぅんかいや　ぴぅとぅぬ　ばいまい　かんずーむぬどぅ　やたいぅ。

たうきゃーぬ　みどぅんやらびぬどぅ，あかーあかぬ　まんとぅう　めろすんかい
うさぎ　とらすたいぅ。めろすっさ　どぅまっうゞぃぎぃたいぅ。ぞー　どぅっさ，しょーっつぁまーり　ならーし　とぅらしぅたいぅ。「めろす，っうゞぁー，あかぱだかん　なりどぅ　ういぅっざあらんな。ぴゃーまり，うぬ　まんとぅう　きし。うぬ　あぱらぎみどぅん　っうゞぁあ，めろすぬ　ぱだこー　んーなん　みーらいすーどぅ　ありやーみーん　んぞーなむぬてぃどぅ　うむい　ういぅさい。」ぱてぃむぬー。
んにゃ　みぱなー　あかーあかしー　きぃむぐりーぐりん　なり　うたいぅ。

八重山　「走れメロス」しぅまむにし　かきみょーら

めろすや　くんじょーくれー。やでーん　あぬ　ばたふさりむんゆ　おー
ぬきなすんで　きめーだ。めろすや，政治や　しぃさぬ。めろすーや，むらぬ
牧人どぅ　やりき。ぴーふき，ぴつとぅ　あさび　くらしだ。やすんが
やなむぬ　かいや　たろーやかん　かんばいしゃーだ。

ぴとぅーりぬ　みーどぅなーぬ，あかまんと　めろすかい　おいすだー。めろすや
ざまどぅり。いー　どぅすぉーや，きーきかし　あんくだ。
「めろす，わなー，ぱだがー　あらんば。ぺーぐ　まんと　きすそー　ます。くぬ
かなさーる　みーどぅなーや，めろすぬ　ぱだがーゆ，むーるかい　みらりすどぅ，
のーやかん，くちさーる。」ゆうじゃや　でーじぅ　あかうむてぃ　すん。

与那国　『走れメロスー』どぅなんむぬいし　かてぃん　あしや。

めろすや　にぐらるた　くんどぅんでぃぶたん。かなーでぃ，かぬー　邪知暴虐ぬ
おーや　とぅい　ᶜかってぃらぬとぅ　ならぬんでぃ，ちむに　きみゃん。
めろすや　政治や　ばがらぬん。めろすや，むらぬ　牧人どぅ　あたる。
ふいば　ᶜてぃー　羊とぅどぅ　あんびー　くらし　すたる　いるんが，邪悪んきたいしてぃや　ᶜとぅーぬ　ばい　びんかんどぅ　あたる。

ᶜとぅいぬ　みぬんがあがみてぃんが，あかぬ　マントー，　めろすんき　さしんだたん。
めろすや　とぅまどぅいきたん。いーどぅちや，きー　きかしてぃ，ᶜたみとぅらたん。
「めろす，んだや　まるはだか　あらぬない。はやぐ　うぬ　マントー　ちぇー。うぬ　んだらる　みぬんがあがみてぃや，めろすぬ　まるはだが　むーるに　んなりるんすんがどぅ，ぬーかん　だんさる。」勇者や，しかっとぅ　あかちら　なたん。

中南部

なーふぁくとぅば　ちかてぃ　んーら。

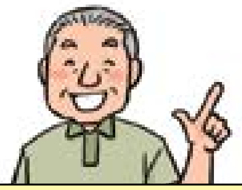
那覇言葉を使ってみよう。

これまで，いろいろなしまくとぅばの使い方をみてきました。でも，しまくとぅばは，実際に使ってみなければ，身に付きません。そこで，これまで学んできたしまくとぅばを使って，実際にしまくとぅばを使ってみませんか。

まずは，自己紹介から始めてみましょう。

わんねー　なーふぁ　たろう　やいびーん。
ちゅーがっこーぬ　ににんしー　やいびーん。
私は，那覇太郎です。中学校の２年生です。

ぬーがな　あびてぃ　まーに。
何か話してごらん。



ちゅーや　いぃー　ᵓわーちち　やぐとぅ　まじゅーん
あしびーが　いか。
今日は良い天気なので，一緒に遊びに行こう。

ちゅーや　あみ　ふとーぐとぅ，まじゅーん　びんちょー　さな。
わんにんかいん，なーふぁくとぅば　ならーち　とぅらさに。
今日は雨が降っているから，一緒に勉強しよう。
私にも那覇言葉を教えてちょうだい。

北部　くしぬくとぅわ　とぅかてぃ　んだー。

わー　なーや　くしたろー。ちゅーがっこー２年生。
私の名前は久志太郎です。中学校２年生です。

ぬーげら　ふぁなし　しち　んでー。
何か話してごらん。

ちゅーや　いぃー　ᵓわーとぅき　いぇーくとぅ，まんなな　あすみが　いかー。
きょうは良い天気なので，一緒に遊びに行こう。

ちゅーや　あみ　ぷとくとぅ，まんなな　べんきょー　さー。
きょうは雨が降っているから，一緒に勉強しよう。

くしくとぅわ　ならーち　とぅらしぇー。
久志言葉を教えてちょうだい。

メモ

宮古　みゃーくふうちぅ　つかいみー。

ばがなーや　みゃーく　たるー。ちゅーがっこーににんしー。
私の名前は宮古太郎です。中学校の２年生です。

のーがらーゆ　ぱなし　みーる。　何か話してごらん。

きゅーや　かぎ　わーちぅきぅ　やーば　まーちぅき　あすぴぅが　ずー。
今日は良い天気なので，一緒に遊びに行こう。

きゅーや　あみぬ　っふい　ういば　まーちぅき　べんきょーすー。
きょうは雨が降っているから，一緒に勉強しよう。

みゃーくふうちぅ　ならーしぅ　ふいーる。
宮古言葉を教えてちょうだい。

八重山　しぅまむに　いじみやーむー。

ばー　なーや　いしがき　たろーゆー。ちゅーがっこーにねんしぇいゆー。
私の名前は石垣太郎です。中学校の２年生です。

のーんがさ　いじ　みやーみーり（いじみーり）。
何か話してごらん。

きゅーや　おーつき　かいしゃーりき　まーずん　あさぴな　はら。
今日は良い天気なので，一緒に遊びに行こう。

きゅーや　あーみぬ　ふいりき　まーずん　びんきょー　さー。
今日は雨が降っているから，一緒に勉強しよう。

しぅまーむに　ならーし　ひーりゃ。　八重山言葉を教えてちょうだい。

与那国　ちまむぬい　ᵓかいんぬー。

あんがなーや　どぅなんたるーゆ。ちゅがっくぬ　２にんしどぅ　ない　ぶる。
私の名前は与那国太郎です。中学校の２年生です。

ぬー　あるばん　はなしきー　んにに。
何か話してごらん。

すーや　いー　わしきどぅ　ありゃー，まどぅん　あんびんでぃ　でぃー。
今日は良い天気なので，一緒に遊びに行こう。

すーや　あみどぅ　ふいぶるんがら　まどぅん　びんきゅ　きるやー。
今日は雨が降っているから，一緒に勉強しよう。

ちまむぬい　ならし　とぅらしんに。　与那国言葉を教えてちょうだい。

索引

この本に出てくるしまくとぅば

　ここでは，この本に出てきた「しまくとぅば」を，共通語だとどんな意味で使われているのかを調べることができます。「しまくとぅば」は，中南部那覇市の那覇言葉、北部名護市の久志言葉、宮古島市の平良言葉、八重山石垣市の四箇言葉、与那国町の祖納言葉の５つに分けてのせました。
　ここでは，共通語の意味を本に出てきた内容だけをのせていますが，「しまくとぅば」は，使い方や前後の表現でもいろいろな意味を持つ場合がありますので，ここに出てくる共通語の意味だけが全てではありません。
　他にどんな使い方や意味があるのか，周りの人に聞いてみたり調べてみたりすることをおすすめします。

中南部（那覇言葉）

あ

あーけーじゅー　トンボ（36）
あいえー　ああ（68）
あいびーん　あります（46・47）
あかぎ　アカギ（34）
あかさる　赤の（96）
あかじらー　赤面（96）
あかばなー　ハイビスカス（34）
あがやー　あるかな？（30・44）
あかんぐゎ　赤ちゃん（8）
あじ　按司（47）
あしばな　遊ぼうぜ（20）
あしばな　遊ぼうよ（32）
あしばりーん　遊べる（30）
あしび　遊び（30）
あしび　どぅくる　遊び場（47）
あしびーが　遊びに（98）
あしぶが　遊ぼうか？（20・32）
あしろーてぃ　遊んで（96）
あたとーたくとぅ
　合っていた（28）
あたびちゃー　カエル（36）
あちゃー　明日（24）
あちゃーやーさ（た）い
　明日ね（24）
あびてぃ　話して（98）
あま　あそこ（38）
あまくま　いろんな所（46）
あまわり　阿麻和利（47）
あみ　雨（98）
あらたまぬ　とぅしに　新年に（67）
あらわする　表す（10）
ありくり　いろいろな物（32）
ある　かかと（11）
あるはじ　あると思う（30）
あわてぃーる　なーかー
　急いでいる時こそ（78）
あんし　そして（28）
あんしぇー
　それでは（26・30・32・38・44）
あんしが　しかし（76）
あんまー　お母さん（8・74）
あんやみ　そうか（30）

い

いー
　はい（目下の人に対する場合）
　（18・20・32・56）
いぃー
　良い（16・28・38・42・66・79・96・98）
いぃーっちょー　良き友は（79）
いぃーるしぇー　良き友は（96）
いーび　指（10）
いーる　～という（46）
いか（な）
　行こう（26・30・32・42・56・57・70・74・98）
いきよー　行きなさいよ（78）
いくとぅば　ことわざ（78・79）
いけー　行けば（30）
いさとぅー　カマキリ（36）
いじ　意地（46）
いじじゅー　勇者（96）
いじゅ　イジュ（34）
いすじ　急いで（78）
いちむし　動物・生き物（47）
いちゃびーが　行きますか（42）
いちゃびら　行きましょう（42）
いちゃりば　行きあえば（79）
いちゅさ　行ってきます（78）
いちゅしや　行くのは（47）
いちゅび
　リュウキュウバライチゴ（34）
いちゅん　行く（16・26・38）
いっち　入って（46）
いっぺー
　とても（たまらなく）（74・96）
いやびーん　いいます（47）
いらぶ　選ぶ（44・76）
いりーが　入れようかなぁ（32）
いりーぶさっさー
　入れたいなぁ（32）
いるんな　いろいろな（42）
いん　犬（8）

う

うー
　はい（目上の人に対する場合）
　（12・18・24・26・38）
うぅー　バショウ（34）
うーくい　さびら
　お見送りしましょう（72）
うーとーとぅ　うーとーとー（70）
うからふぁーふ　首里城正殿（46）
うきれー　起きなさい（12）
うぐしく　首里城（46）
うくちくぃれー
　起こしてくれたら（78）
うくちゃん　起こした（47）
うくなとーたん　行っていた（56）
うくりーん　遅れてしまう（78）
うさがいん　召し上がる（14）
うさがみそーれー
　食べてください(召し上がれ)(12・14・72)
うさぎむん　お供え物（72）
うさんれー　さやー
　ごちそうをいただこう（70）
うさんれー　さびら
　お供えしたごちそうをいただきましょう（72）
うじらーさん　かわいい（76）
うしらし　紹介（お知らせ）（8）
うしる　お汁（14）
うしるぢゃわん　汁わん（14）
うた　歌（琉歌）（88）
うちなー　沖縄（20・46）
うちゃーとーん
　似合っている（74）
うっさぎさん　うれしそう（74）
うっちゃん　打った（28）
うてぃ　～にて（40）
うてぃ　くみそーれー
　（売って）ください（40）
うていちき　落ち着いて（78）
うにげー　さびら
　お願いします（18・66）
うぬ　この（96）
うぬふか　この他（30）
うふぉーく　たくさん（68）
うまんちゅ　みんな（86）
うむさする　おもしろがる（47）
うみちちゃん　決意した（96）
うむとーん　考えている（6）
うやふぁーふじ　ご先祖（70）
うり　うで（10）
うりから　それから（28）
うれー　それは（42）
うわらな　終わろう（24）
うんけー　お迎え（72）
うんちけー　案内（46・47）
うんちけーさったん
　招待された（76）
うんなとぅちぇー
　こんなときは（78）
うんぬき　やびら　～します（66）

え

えーさち　あいさつ（66）
えーさに　～じゃないか（96）

か

かーにーぐんばー
　リュウキュウツヤハナムグリ(36)
かい
　～に（～へ）（26・28・30・32・38・42・47・57・70・96）
かじ　数（68）
がじまる　ガジュマル（34）
かじゃてぃ　かざって（67）
かじゃでぃふう　かぎやで風（67）
かた　かた（11）
かちーねー　書いてみると（96）
かちぇーる　書かれた（20）
かっちんぐすく　勝連グスク（47）
かてぃむん　おかず（14）
かま　食べよう（12・14・44）
がま　どうくつ（47）
かみむん　食べ物（42）
かみーが　食べに（42）
かみよー　食べなさい（14・68）
からじ　髪（10）
からとーる　飼っている（47）
かりんーら　食べてみよう（68）
かんげー　考え（42）
かんげーとーしが
　考えているんだけど（44）
かんなじ　必ず（96）

き

きーくさ　草木（34）
ぎょくせんろー　玉泉洞（47）
きらまー　慶良間列島（79）

く

くぃみそーれー　ください（56）
くー　虫カゴ（32）
くーがふぁーふぁー　卵焼き（14）
くくる　心（26・67）
くくるむち　気持ち（86）
くさばな　草花（32・34）
くし　腰（11）
ぐしく　グスク（47）
くしながに　背中（11）
くち　口（11）
くとぅ　こと（18）
くとぅし　今年（66）
くとぅば　言葉（10・86）
くぬ　この（47・79）
くば　ビロウ（34）
くぶ　こんぶ（67）
くまー　ここ（20・46）
くまんかいや　ここには（46）
くみ　米（38・40）
くらちょーたん
　暮らしてきた（96）
くりし　これで（24）
くりから　これから（18・47）
くれー　これは（40）
くゎっちー　さびたん
　ごちそうさまでした（12・14）
くゎっちー　さびら
　いただきます（12・14・44）
くんら　ふくらはぎ（11）

け

けーりよー　帰りなさいね（24）

こ

こーいが　買うの（40）
こーいむん　買い物（38・40）
こーいむん　しーが
　買い物に（38）
こーてぃ　買って（38・79）
こーてぃ　っち　買ってきて（38）
ごーやー　にがうり（22）
ごーやーちゃんぷーるー
　にがうり炒め（22）

さ

さぎらな　下げよう（68）
さしん　写真（74）
さしんやー　写真館（74）
さちじゃちぇー　将来は（6）
～さな　～しよう（26・98）
～さびら
　～します（8・46・47・72）
さんさなー　クマゼミ（32・36）
さんにん　ゲットウ（34）
～さんろー　～したよ（16・24）

し

しーじゃ　兄・姉（8）
しーみー　清明祭（70）
じーわじーわ
　クロイワツクツク（36）
しぇーやー　しなさいね（70）
しかっとぅー
　しっかり（きちんと）（14）
じこー　ひどく（96）
しちびんかい　行事に（57）
しちぐゎち　お盆（72）
しちゅしぇー　好きなのは（6）
しまぬ　故郷の（56）
しまんかい　故郷に（88）
しみしぇーみ　～をしますか（18）
しむがやー　いいかな（30）
しむるむんぬ　いいのに（78）

しむんろー　いいよ（20・44）
じゅーさんゆーえー　十三祝い（74）
じょーとー　上手に（32）
しらびてぃ　んーら
　調べてみよう（34・36・88）
じん　お金（76）
しんぐゎんしん　千貫でも（79）
しんしー　先生（6・28）

す

すー　お父さん（8・16・74）
すーてぃちゃーぬ　ふぁー
　ソテツの葉（32）
すーらさる　かわいい（96）
すいてぃんがなしー
　琉球国王（46）
すがやー　〜しようか（44）
すぬひゃんうたき
　園比屋武御嶽（そのひゃんうたき）（46）
すば　そば（22）
すみてぃ　染めて（30）
すむち　本（20）
するてぃ　そろって（26・70）
するばん　そろばん（76）
すん　〜する（16・40）

そ

そーぐゎち　お正月（66）
そーたん　〜していた（22）
そーてぃ　連れて（56）

た

たまうるん　玉陵（たまうどぅん）（46）
たまなー　キャベツ（22・38・40）
たまねー　たまには（47）
たんかーゆーいぇー
　満一歳の誕生祝い（76）
たんめー　おじいさん（8・32・79）

ち

ちーしぇー　まし
　着るがいい（96）
ちー　ちかさーに
　気を利かせて（96）
ちー　ちきてぃ
　気を付けて（12・24・78）
ちかーっとーる　使っている（22）
ちかさん　近く（46）
ちかなとーる　飼育している（47）
ちかてぃ　使って（57・98）
ちたーっとーる
　伝わっている（88）
ちたゆる　伝える（86）
ちちゃさる　近くには（47）
ちてーばなし　言い伝え（46・47）
ちぬー　昨日（16）
ちび　お尻（11）
ちぶる　頭（10）
ちみ　爪（30）
ちむいちゃさん
　心が痛む，かわいそう（86）
ちむがなさん
　心からかわいく思う（86）
ちむしからーさん
　心さびしい（86）
ちむぢゅらさん　心が清らか（86）
ちむのーいん　機嫌が直る（86）
ちむふじゅん
　心が満ち足りる（86）
ちむやむん　心が痛む（86）
ちむわさわさーすん
　胸さわぎがする（86）
ちゃー　やたが
　どうだった？（28・76）
ちゃーねーる　どんな（18・30）
ちゃーびーが
　〜してこようか（38）
ちゃーびら　〜しよう（38）
ちゃーびらさい
　ごめんください（40）
ちゃーわん　湯飲み茶わん（14）
ちゃっさ　いくら（どれだけ）（40）
ちゃんとぅ　きちんと（14）
ちゅー　今日（72）
ちゅーしが　〜してくるのが（46）
ちゅーぬ　今日の（20・22・74）
ちゅーむんすがやー
　注文しようか（44）
ちゅーや
　今日は（16・22・24・28・32・42・56・70・74・98）
ちゅーん　今日も（12・18・24）
ちゅくいぶさぐとぅ
　作りたいから（32）
ちゅくたる　作った（32）
ちゅくてーぐとぅ
　作ってあるから（68）
ちゅくてぃ　作って（68・88）
ちゅくらな　作ろう（32）
ちゅふぁーら　お腹いっぱい（68）
ちゅらさん　きれい（74）
ちゅらじん　きれいな着物（74）
ちゅらばな　きれいな花（30）
ちょーみん　帳面（76）
ちょーれー　兄弟・姉妹（8・79）
ちら　顔（11）
ちれーくに　島にんじん（22）
ちんし　ひざ（10）
ちんなん　カタツムリ（36）

つ

っくゎ　子ども（38）
っち　とぅらしよー
　来てちょうだいね（40）
っやー　君（96）
っわー　ブタ（36）
っわーちち　天気（16・98）
っゑんちゅ　ネズミ（36）
っんじ　行って（38・56）
っんじ　ちゃーびら
　行ってくるね（38）
っんじ　くーいー
　行ってきます（12）
っんじ　くーわー
　行ってらっしゃい（38）
っんじとーたん　出ていた（28）
っんじらー　出るなら（46）
っんまが　孫（8）
っんまり　生まれ（6）
っんめーし　おはし（14）

て

てーして　対して（96）
てぃー　手（10）
てぃーちぇー　ひとつ（68）
てぃーぬわた　手の平（10）
てぃんさーぐー　ホウセンカ（30）
てーしち　大切（78・79）

と

とーとーめー　位はい（72）
とぅい　ニワトリ（36）
とぅいが　取りに（30）
とぅくま（ん）　所（に）（47）
とぅくまんかいや　所には（47）
とぅくる　所（46・47）
とぅし　年（68）
とぅち　とき（20）
とぅってぃるきらんとー
　除かなければ（96）
とぅっとーたんり
　取ったんだって（76）
とぅぬーまぬー　まごついた（96）
とぅめーいが　探しに（30）
とぅめーてぃ　探して（30・88）
とぅめーれー　探せば（30）
とぅらさに　〜してちょうだい（98）
とぅらしぇー
　〜してくれるかな（38）
とー
　さぁ・それでは（12・14・38・42・44・68）

な

なー　名前（6・34・36）
なー　もう〜（12）
なーかんかい　中に（46）
なーびかちかちー
　リュウキュウアブラゼミ（36）
なーふぁくとぅば
　那覇言葉（96・98）
ないぶさん　なりたい（6）
なかぐしくぐしく　中城グスク（47）
なかゆくい　休み時間（20）
なぎーし　投げる方（26）
なたん　〜した（96）
なてぃ　〜になって（16）
なちゅる　くぃー　泣き声（36）
なとーん　〜だよ（12）
なとーんやー
　〜になりましたね（66）
なま　今（26・38）
なまさち　先ほど（22）
ならいが　習いに（32）
ならーち　教えて（98）
ならーちくぃれ
　教えてくれない？（20）
ならーちゃん　教えてやった（96）
ならてぃ　習って（16・79）
ならとーがやー
　習っているのかな（18）
ならん　ならない（できない）（96）
なれー　習い（79）
なんじ　苦労（16）

に

にじり　右（10）
にふぇーれーびたん
　ありがとうございました（24）
にふぇーれーびるさい
　ありがとうございました（40）
にふぇーろー　ありがとう（40）
にんいっとーてぃ　集中して（26）
にんとぅー　年頭（66）

ぬ

ぬー
　何（20・22・30・32・38・40・44・76）
ぬーがな　何か（98）
ぬーっし　何をして（32）
ぬーや　何が（44）
ぬーりー　のど（11）
ぬじーが　（写真を）撮りに（74）
ぬしきたん　ささげた（96）
ぬちる　たから　命こそ宝（79）

は

はーべーるー　チョウ（36）
はーりー　ハーリー（56）
はい　やぁ（16）
はいさい
　こんにちは（男の人が使う）（6）
はいたい
　こんにちは（女の人が使う）（6）
はかめーが　墓参り（70）
ばさない　バナナ（34）
はじかさん
　はずかしい・悔しい（96）
はじまいびーん　始まる（12）
はじみーん　始める（18）
はちゃー　ハチ（36）
はな　鼻（11）
はな　花（30・67）
はぶ　ハブ（47）
はまてぃ　頑張って（24）
はんしー（ぱーぱー）
　おばあさん（8・79）

ひ

ひーや　日は（56）
ぴかーのー　あらん
　だけではなく（47）
ひきしみてぃ　引き締めて（26）
ひさ　足（11）
ひじゃい　左（10）
ひちじ　羊（96）
ひてぃみてぃむん　朝ご飯（12）
びんちょー　勉強（24・98）

ふ

ふぃー　日（28）
ふぃーじゃー　ヤギ（36）
ふぃき　引け（46）
ふぃる　振る（26）
ふぇーく　早く（12・78・96）
ふぇーさたぐとぅ
　早かったので（22）
ふか　他（79）
ふか　外（79）
ふかぬちゅゆかー　他の人より（96）
ふかんかい　外に（42）
ふち　吹いて（96）
ぶちらん　仏だん（72）
ふとーぐとぅ　降っている（98）
ふみらったん　ほめられた（28）
ふり　筆（76）

ま

まーさぎさっさー
　美味しそうだね（44）
まーさぎさんやー　美味しそう（68）
まーさむのー
　美味しいものは（44）
まーさむん　美味しいもの（28）
まーさんやー　美味しいね（44）
まーち　リュウキュウマツ（34）
まーに　〜してごらん（98）
まーんかい　どこに（30・42）
まかい　茶わん（14）
まし　〜が良い（好き）（44）
まじぇー　まずは（26・88）
ましやがやー　〜良いかな（44）
ましやし　好きなもの（44）
まじゅーん
　一緒に（12・14・16・56・57・98）
まちかんてぃー　待ち遠しい（22）
まちげー　まつ毛（79）
まちや（ぐゎー）　お店（38・40）
まやー　ねこ（8・36）
まゆ　まゆ（11）
まるけーてー　たまには（42）
まるはらか　真っ裸（96）

み

みー　目（11）
みーてぃ　見えて（46）
みーしが　見えるが（79）
みーらん　見えない（79）
みぐとぅ　見事（56）

む

むーちー　むーちー（68）
むちかさん　難しい（20）
むふん　むほん（47）
むぬ　ご飯（76）
むむ　もも（11）
むるっし　合計（全部）で（40）
むん　もの（56・79）

め

めー　ご飯（14）
めー　前（26）
めーちじ　ご飯粒（14）
めんそーちゃる
　いらっしゃった（47）
めんそーちゃん
　いらっしゃいました（46）
めんそーりよー
　行ってらっしゃい（12）
めんそーれー　いらっしゃい（40）

や

やー　家（79）

やーしくなとーたん
お腹が空いていた（22）
やーしぇー　野菜（22）
やーにんじゅ　家族（8）
やぐとぅ　〜なので（98）
やーやしち　家屋しき（47）
やいびーが　〜でしょうか（40）
やいびーさ　〜ですね（42）
やいびーん
〜です（6・8・46・47・98）
やがやー　〜だろう（22）
やくとぅ　〜なので（26）
やさ
〜だね（そうそう）（22・32・38・40）
やしが　けれども（96）
やたん　〜だった（16・28・96）
やみ　そう（28）
やる　〜である（96）
やれー　〜だったら（30）
やんろー　そうだよ（78・79）

ゆ

ゆーな　オオハマボウ（34）
ゆたさえーさに　良いだろう（42）
ゆたさたん　良かった（16・28）
ゆたさるぐとぅ　よろしく（66）
ゆっかぬひー
（旧暦の）５月４日（56）
ゆろーが　読んでいるの？（20）

よ

よーんなー　ゆっくり（78）

ら

らふてー　豚の角煮（22）

り

りーぐ　デイゴ（34）
りっか　さぁ（行こう）（30）

る

るー　身体（10）
るし　友（79）

れ

れーじな　大変〜（96）
れーじなたん　大変になった（78）
れーじなとーさ
大変になっている（78）
れーびる　〜です（66）

わ

わー　私（の）（6）
わかりてぃ　分かれて（26）
わしたん　忘れてしまった（78）
わじとーん　怒っている（96）
わしりんなよー　忘れるな（24）
わた　お腹（10）
わったー　私たち（8・56・88）
わらび　子ども（47）
わらびんちゃー　子どもたち（47）
わん　私（8）
わんにん　私も（22・56）
わんにんかい　私にも（98）
わんねー
私は（6・16・32・44・76・98）

ゐ

ゐきが　男（8）
ゐきがちょーれー
弟・兄弟（8・76）
ゐなぐ　女（8）
ゐなぐちょーれー
妹・姉妹（8・74）
ゐなぐわらび　少女（96）

を

をー　王（96）

ん

んーじが　見に（56）
んーな　みんな（57・96）
んーら
〜してみよう（26・30・88・98）
んーらりーしぇー
見られるのが（96）
んーりよー　〜してみよう（79）
んかし　昔（46・47）
んかしぇー　昔は（56）
んかしむぬがたい　昔物語（20）
んかしんちゅぬ
昔の人たちの（78）

北部（久志言葉）

あ

あー
はい（目上の人に対する場合　）（12・18・24・26・38）
あーさんさ
オオシマゼミ　クマゼミ
クロイワツクツク　（36）
あがいていだ　上がる太陽（79）
あかぎ　アカギ（34）
あかどぅら　なたん　赤面した（96）
あかばなー　ハイビスカス（34）
あかんぐゎ　赤ちゃん（8）
あけどぅ　トンボ（36）
あすわー　遊ぼう（20）
あすわりんどー　遊べるよ（30）
あすゐが　いかー
遊びに行こう（98）
あすゐが　遊ぼうか（20）
あちゃーん　明日も（24）
あっかやー　あるかな（44）
あっしねーや　それでは（26）
あっち　そして，それから（28・49）
あてぃ　あって（48）
あとぅりがやーでぃち
注文しようかと（44）
あとぅりてぃ　注文して（44）
あぬ　かの（96）
あまくま　あちこち（48）
あまぬ　あそこの（38）
あみ　雨（98）
あん　いぇーねー　それでは（30）
あんねー　さーやー
案内しよう（48）
あんまー　お母さん（8）
あんまーん　お母さんも（74）

い

いぃー　つわーとぅき
良い天気になって（16）
いぃー　っくわどー
いい子だね（38）
いぃー　そーぐゎち　やー
良い正月です（66）
いぃー　良い（16・28・42）
いぇーすが　しかし（76・96）
いぇーびん　〜です（48）
いぇいくわいわ　英会話（18）
いぃー　かんげー　いぇーさ
良い考えですね（42）
いぃぎり　右（10）
いーちてー　伝説（49）
いぃちゃぎーん　召し上がる（14）
いぃちゃぎそーれー
食べてください（12）
いぃ っぴー　いぇーたん
良い日だった（28）
いぃぬむぬ　同じ（79）
いぇいごぬ　英語の（18）
いぇーくとぅ　なので（26・58）
いぇーさ　そうか　22）
いぇーたん　だった（48）
いぇーん　そうだ（28・30）
いぇーねー　だったら（30）
いが　しま　私たちの故郷（88）
いかー　行こう（30・42・70）
いかわ　あーるやー
行けばあるかな（30）
いきわ　あーさに
行けばあるでしょう（30）
いきむし　動物（36）
いじ　くーやー
行ってくるね（38）
いじ　こー
行ってくれるかな，行ってらっしゃい（38）
いじ　ちゅんどー
行ってくるね（12）
いじ　とぅらしぇー
行ってください（58）
いじ　行って（12）
いじとーたんどー　出ていた（28）
いちゅん　行く（16・26）
いちょい　野イチゴ（34）
いっくわいなーる　一回こそ（79）
いどー　イジュ（34）
いぬー　犬（8）
いらゐん　選ぶ（44）
いるんな　いろいろな（42）

う

うぅー　バショウ（34）
うーくい　さーやー
お見送りをしましょう（72）
うーとーとぅー　うーとーとー（70）
うぅぬ　いる（48）
うぅばさー（うぅばさぎぬ）
芭蕉布（34）
うがまん　拝まない（79）
うがみる　拝む（79）
うきなー　沖縄（48）
うきなーでぃ　いーねー
沖縄といえば（49）
うきれー　起きなさい（12）
うさぎむぬ　お供え物（72）
うすみじ　塩水（79）
うた　歌（琉歌）（88）
うちゃとくとぅ
似合っているから（74）
うっさち　これで（24）
うっさぎさんやー
うれしそうだね（74）
うっさん　おもしろい（58）
うっちゃん　打った（28）
うっとぅー　弟・妹（8）
うでぃー　うで（10）
うどぅるちゃん
まごついた（驚いた）（96）
うにげー　すんどー
お願いします（18）
うぬ　この（96）
うむとすが
思っているんだけど（44）
うやふぁーふじ　ご先祖（70・79）
うりから　それから（28）
うりむちー　むーちー（68）
うりや　それは（42）
うわらー　終わろう（24）
うんけー　さーやー
お迎えしましょう（72）

え

えーすとぅ　しーが　っちゃん
あいさつに来ました（66）

お

おー
はい（目下に対する場合）（18）
おーはぬ　つみー　青い海（49）
おーはぬ　ていに　青い空（49）
おーふぁぁ　野菜（22）

か

かーまんた　まんた（48）
かーみぬ くー　亀の甲（79）
かかっとぬ　書かれた（20）
がじまる　ガジュマル（34）
がすすとぅかぬ　ウニなどの（49）
かたー　かた（11）
かち　んだー　書いてみよう（96）
かていむん　おかず（14）
かなみぬ　要の（48）
かにべんさー
リュウキュウツヤハナムグリ（36）
かまー　食べよう（12・14）
かみが　いかー
食べに行こう（42）
かみが　いかな
食べに行こう（42）
かみよー　食べなさい（14）

かめーいが　探しに（30）
かめーいねが　ましがやー
　探せばいいかな（30）
かめーが　探しに（30）
からどぅ　髪（10）
かんなどぅ
　必ず，きちんと（14·96）

き

きー　ちきてぃ
　気をつけて（12·24）
きー　ちかてぃ
　気を利かせて（96）
きっさから　先ほどから（22）
きみたん　決意した（96）
きむ　さーさすん
　胸さわぎがする（86）
きむ　のーいん　機嫌が直る（86）
きむ　ふぃじゅん
　心が満ち足りる（86）
きむ　やみん　心が痛む（86）
きむがなはん
　心からかわいく思う（86）
きむぐろはん　かわいそう（86）
きむしからはん　心さびしい（86）
きむぢゅらはん　心清らか（86）
きれー　着なさい（96）

く

くぇーむぬ　食べ物（42）
くぇーよー　食べてね（68）
くがー　卵（14）
くくるむち　気持ち（86）
くし　腰（11）
くしくとぅわ　久志言葉（98）
ぐすく　いぇーん　グスクだ（48）
くすべんさー　アオドウガネ（36）
くたいん　今年も（66）
くち　口（11）
くとぅ　ことを（18·20）
くば　ビロウ（34）
くまや　ここは（20·48）
くみ　米（38·40）
くらち　ᵔちゃん
　暮らしてきた（96）
くりや　これは（40）
くゎーたくとぅ　食べたので（22）
くゎーてぃ　んだー
　食べてみよう（44·68）
くゎっき　さーやー
　いただきます（12）
くゎっき　しちゃん
　ごちそうさまでした（12·14）
くんだー　ふくらはぎ（11）

け

けーりよー　帰りなさいね（24）
げるやー　～だろうか（22）

こ

こー　来なさい（38）
こーいむぬ　すん　買い物する（40）
こーいむぬ　しーが　いちゅん
　買い物に行く（38）
こーえんけ　公園に（30）
こーてぃ　ちゅーる
　買ってこようか（38）
ごーやー　にがうり（22）
こーらー　買おう（40）

さ

さー　しよう（98）
さーるー　カマキリ（36）
さがいてぃだ　下がる太陽（79）
さぎらー　下げよう（68）
さけーたる　栄えていた（48）
さしいじゃちゃん　ささげた（96）
さんでー　さーやー
　ごちそうをいただこう（70·72）
さんにん　ゲットウ（34）

し

しーそーいんなー　しますか（18）
じーにー　お金（76）
しーみー　清明祭（70）
じかんどー　時間だよ（12）
しじゃー　年上（8）
しち　して（20）
しち　んだー　してみよう（26）
しちゃんどー　したよ（24）
写真やーけ　写真館へ（74）
じゅーさんゆーいぇー
　十三祝い（74）
しらびてぃ　んだー
　調べてみよう（34·36·88）
しるー　おつゆ（14）
しるまかい　汁わん（14）

す

すーすとぅ　するのと（79）
すがい　しち　恰好をして（49）
すそーに　しーねー
　粗末にしたら（79）
すっくぇーちゃっさー
　苦労したよ（16）
すみさに　良いだろう（42）
すみてぃ　染めて（30）
すみんどー　いいよ（44）

するてぃ　いかな
　そろっていこう（26）
するばん　そろばん（76
すんでぃち　～するのに（16）

そ

そーかい　紹介（8）
そーき　豚のあばら肉（22）
そーしーぬぐとぅ
　本当にするように（26）
そーてぃ　連れて（58）

た

だー　それでは（68）
だーけが　いちゅる
　どこに行くの（42）
だーけが　どこに（30）
たっかーゆーいぇー
　満一歳の誕生祝い（76）
たぬしどん　楽しんでいる（49）
たぬしみ　しみとん
　楽しませている（48）
たまな　キャベツ（22·38·40）

ち

ちー　とぅらしよー
　きてちょうだいね（40）
ちぶる　頭（10）
ちゃーちゃー　お父さん（8·16）
ちゃーちゃーん　お父さんも（74）
ちゃーびら　ごめんください（40）
ちゃっさ　げーる
　いくらですか（40）
ちゃっち　げーたる
　どうだった（28·76）
ちゃっちょる　どんな（18）
ちゃわぬー　湯飲み茶わん（14）
ちゅいぬ　一人の（96）
ちゅーいちべー　人一倍（96）
ちゅー　人（48）
ちゅーから　今日から（72）
ちゅーくーやー　人をかむ（74）
ちゅーぬ　今日の（22·74）
ちゅーや
　今日は（16・20·22・24・28・
42・58・70・74・98）
ちゅーん　今日も（12·18·24）
ちゅらぎぬ　きれいな着物（74）
ちゅらはぬ　きれいな（49·96）
ちゅらはんやー　きれいだね（74）
ちゅらふぁな　きれいな花（30）
ちょーでー　兄弟・姉妹（8）
ちょーめん　帳面（76）
ちんし　ひざ（10）

つ

ᵔきでくに　島にんじん（22）
ᵔきわたんやー　頑張ったね（28）
ᵔきんぬーぬ　昨日の（16）
ᵔちーちゃんく　ほうせんか（30）
ᵔとぅみけ　爪に（30）
ᵔとぅらー　顔（11）
ᵔとぅんな　カタツムリ（36）
ᵔなんまから
　これから（18·26·38·48）
ᵔなんま　今（26）
ᵔぴじゃい　左（10）
ᵔぴる　昼（20）
ᵔみー　海（49）
ᵔみーぬ　むぬ　海産物（49）
ᵔめーし　おはし（14）
ᵔやーや　君は（96）
ᵔやびーん　言います（6）
ᵔわー　ブタ（36）
ᵔわーたっこー　カエル（36）
ᵔゐゐ　指（10）
ᵔゑっちゅー　ネズミ（36）

て

てぃー　手（10）
でぃーぐ　でいご（34）
てぃーち　ひとつ（68）
でぃーち　ないぬめー
　統一される前（48）
てぃーぬわたー　手の平（10）
でぃかー　さあ（30·42）
でぃきとん　見事なものだ（58）
でーじな　とても（58·74·96）
でーじな　まーはぬ
　とても美味しい（49）

と

とぅい　ニワトリ（36）
とぅいが　いかやー
　撮りに行こう（74）
とぅいが　取りに（30）
とぅいるやー　取るかな（76）
とぅかてぃ　んだー
　使ってみよう（98）
とぅかとる　使っている（22）
とぅくてぃ　んだー
　作ってみよう（88）
とぅくてぃ　作って（68）
とぅくてくとぅ
　作ってあるから（68）
とぅくに　特に（48）
とぅくま　いぇーん　ところだ(49)
どぅし　友（96）
とぅしぬ　かじ　年の数（68）

とぅしぬ　くー　年の功（79）
とぅたんでぃ
　取ったんだって（76）
とぅめーてぃ　んだー
　探してみましょう（88）
とー
　さぁ・それでは（12·24·38·44）
とーとぅ　しぇー
　うーとーとーしなさい（70）
とーとぅ　しちから
　うーとーとーしてから（70）

な

なー　もう（12）
なー　名前（6·34·36）
なーびーかちゃかちゃー
　リュウキュウアブラゼミ（36）
ながにー　背中（11）
なだけーな　有名な（48）
なたんやー　なったね（16）
なちゅる　くぃー　鳴き声（36）
ならーち　とぅらしぇー
　教えてちょうだい（98）
ならーち　教えるよ（24）
ならーち　とぅらさんなー
　教えてくれない（20）
ならーち　とぅらしそーりよー
　教えてください（24）
ならーちゃん　教えた（96）
ならてぃ　習って（16）
ならとがやー
　習っているのかな（18）

に

にかー　将来（6）
にふぇーいぇーたん
　ありがとうございました（40）
にふぇーいぇーびたん
　ありがとうございました（24）
にふぇーどー　ありがとう（40）
にん　いってぃ　いかー
　集中していこう（26）
にんとぅーぬ　年頭の（66）

ぬ

ぬー　何（20·22·30·44）
ぬーが　何を（38·44）
ぬーげら　何か（98）
ぬーぬ　何の（20）
ぬくとぬ　うた
　残っている歌（88）
ぬち　命（96）
ぬでぃー　のど（11）
ぬみる　飲む（79）

は

ぱーぱー　おばあさん（8）
ばーや　ときには（20）
はいさい　こんにちは（6）
ばさない　バナナ（34）
ばちきりとんやー　かわいいね(76)
はべる　チョウ（36）
はまてぃ　頑張って（24）

ひ

ぴーじゃー　ヤギ（36）
ひきしみてぃ　引き締めて（26）
ぴさ　足，足の甲（11）
ぴさぬ　ᵔゐゐ　足の指（10）

ふ

ふぁか　墓（70）
ふぁじまいん　始まります（12）
ふぁじみんどー　始める（18）
ふぁち　ハチ（36）
ふぁどこはん　くやしい（96）
ふぁな　花（30）
ふぁな　鼻（11）
ふぁなし　しち　んでー
　話してごらん（98）
ふぁなしっちゃや　あらぬ
　～だけでなく（49）
ふぁんそー　笛（96）
ふぃー　碑文（88）
ふぃとぅ　イルカ（48）
ふぃるびるとぅ　しち　広くて(48)
ふぇーく　早く（12·22）
ふぉーく　多く（48·68）
ふかうってぃ　外で（42）
ふかけ　外に（42）
ふくざん　北山（48）
ふち　吹いて（96）
ふでぃ　筆（76）
ぷとぅくとぅ　降っているから（98）
ふみらったん　ほめられた（28）

ま

まーはぎさぬ　美味しそう（44）
まーはぶちゃげらはぬ
　美味しそうだね（68）
まーはむん　美味しいもの（28·44）
まーはるやー　美味しいかな（44）
まーはんやー　美味しいね（44）
まーまー　姉（8）
まい　しり（11）
まかい　茶わん（14）
まぎはぬ　大きな（48）
まし　いい（44）
まし　いぇーす　好きなもの（44）

まじや　まずは（26·88）
まちかんていー　いぇーたん
待ち遠しかった（22）
まちやうぅてぃ　お店にて（40）
まちやけ　店へ（38）
まっさーらな　真っ白な（49）
まとぅー　リュウキュウマツ（34）
まむいぬ　守る（48）
まやー　ネコ（8·36）
まるけーてぃ　たまには（42）
まるばい　真っ裸（96）
まんどる　たくさんある（42）
まんなな
一緒に（12·14·16·58·98）

み

みー　目（11）
みーが　いかー　見に行こう（58）
みーどぅくる　いぇーん
観光名所だ（48）
みーふぁらき　朝食（12·14·22）
みーまゆー　まゆ（11）
みみだいっまー
耳が垂れた馬（79）
みやーぬ　まんどん
見る人がたくさんいる（48）
みらりすが　見られるのが（96）

む

むちかはんやー　難しいね（20）
むぬ　物（79）
むむー　もも（11）
むぬ　皆（49·96）
むるっち　合計（全部で）（40）
むんどぅり　すりてぃ
みんなで（70）

め

めー　ご飯（14·76）
めーとぅどぅ　ご飯粒（14）

も

もーいそーれー　いらっしゃい（40）

や

やーく　なとたん
お腹がすいていた（22）
やーにんじゅ　家族（8）
やかー　兄（8）

ゆ

ゆー　うちゃとん
よく似合っている（74）
ゆたはるぐとぅやー
よろしくね（66）
ゆどる　読んでいるの（20）
ゆどん　読んでいる（20）
ゆなー　オオハマボウ（34）
ゆわっとん　呼ばれている（76）

わ

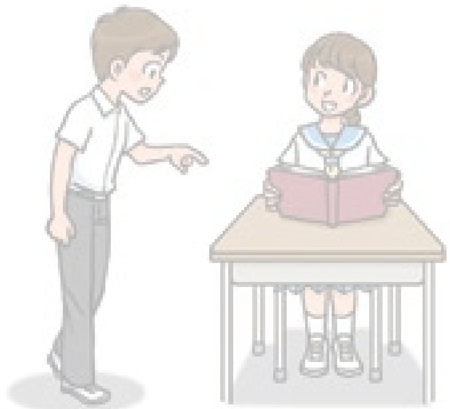
わー　私の（6·98）
わじたん　おこった（96）
わたー　お腹（10）
わたみちゅか　お腹いっぱい（68）
わっしらんきよー　忘れるなよ（24）
わぬ　私を（58）
わぬー　私（8）
わぬや　私は（16）
わぬんげ　私も（22）
わね　しま　私たちの島（58）
わねー　私たち（8）
わねー　むんどぅりぬ
私たちみんなの（86）

ゐ

ゐきがー　男（8）
ゐきがうっとぅ　弟（8）
ゐなぐー　女（8）
ゐなぐうっとぅ　妹（8）
ゐなぐちょーでー　姉妹（74）
ゐなぐわらゐ　少女（96）
ゐなぐんぐゎ　娘さん（96）

ん

んー
はい（目下に対する場合）（18·20）
～んでぃ　～と（6）



宮古（平良言葉）

あ

あーぐぅ　歌を（90）
あいぅ
です・ある（7·43·51·60·90）
あいぅがらやー
あるかな？（31・45）
あいぅさーい　あります（51）
あいぅざ　あらんな
あるでしょう（31）
あいぅざい　ういぅ
呼ばれています（50）
あかーあかぬ　まんとぅー
緋のマントを（97）
あかいぅぎー　アカギ（35）
あがいたんでぃ　やったー（80）
あかぱだかん　なりどぅ　ういぅっざ　あらんな
真っ裸じゃないか（97）
あかばな　ハイビスカス（35）
あかんが　赤ちゃん（9）
あがんにゃ（あば）　ああ（69）
あぎどぅなか（とぅなか）
卵焼き（卵）（15）
あざ　兄（9）
あさむぬー　朝ご飯を（13・23）
あさむぬーばー　朝ご飯は（15）
あしぅが　しかし（77）
あしぅちぅかー
やってみると（80）
あしぅちぅかー　ないぅどぅ　しぅさいが　やればできるんだ（80）
あしがどぅ　けれども（97）
あすば　遊ぼう（21・33）
あすぱいどぅ　しぅどー
遊べるよ（31）
あすぱっちゃー
遊ぼうか？（21・33）
あすぴいぅ　遊んで（97）
あすぴぅが　遊びに（99）
あたり　うたいぱどぅ
合っていたので（29）
あちぅかー
それでは（27・33・39）
あつぁやー　明日ね（25）
あどぅ　かかと（11）
あぱらぎさ　美しい（81）
あぱらぎみどぅんっづぁあ
かわいい娘さんは（97）
あぱらぎみどぅん　美女（51）
あびらいたいぅ　招待された（77）
あみぬ　雨が（99）
あら　それでは（27・39・69）
あらーぬ　いむとー　外の海と（51）
あらんにゃ　よーし（80）
ありやーみーん　んぞー　なむぬ
ていどぅ　たまらなく悔しいと（97）
ありやみーん　あぱらぎやー
とてもきれいだね（75）
あんが　姉（9）
あんちーしってぃ　そして（29·97）
あんちーやー　そうだね（33）
あんちーな
そうか（23・29・31）
あんちーぬ　こんなに（80）
あんちー　やちぅかー
それでは（33）
あんな　お母さん（9）
あんないすーやー
ご案内しましょう（50）
あんなまい，うやまい
お母さんもお父さんも（75）

い

いいぅぬ　いむ　西海岸（51）
いーぬぷー
イーヌプー（池間湿原）（50）
いぅずぬきゃー　魚たち（50）
いぅずぬまーすに　魚の塩煮（23）
いか　行こう
（31・33・43・60・71・75）
いかっちゃー　行きますか（43）
いかやー　行こう（27）
いき　くーっどー
行ってきます（13）
いきぅ　行く（17·27）
いきぅむしぅ　動物（37）
いき　くー
行ってらっしゃい（13・39）
いき　くーっどー
行ってくるね（39）
いきばが　行けば（31）
いきばどぅ　行けば（31）
いきまじぅまぬ　池間島の（50）
いきゃー　池は（51）
いじでぃがらやー　入れようかな(33)
いじぶしぅかいぅ　入れたいなあ(33)
いすか　やりゃー　いくらですか(41)
いちぅにちぅぬ　一日が（13）
いちぅばん　一番（50）
いっづぃ　うてぃーまい
怖がっていても（80）
いでぃ　うたいぅどー
出ていた（29）
いらばでぃ　選ぶ（45）
いらびぅがら　選ぶかな（77）
いらぶじぅもー　伊良部島を（51）
いるたてぃだてぃぬ
いろいろな（43）
いん　犬（9）
いんがなしぅきゃー
かわいいね（77）

う

ういぅがらやー
～ているのかな（19）
ういから　それから（29）
ういきしぅまーいぅ
追いかけ回る（60）
ういび　指（10）
ういびゃー　指は（81）
うがむ　てぃーまい
見ることのできる場所としても（51）
うきば　あるから（69）
うきる　起きなさい（13）
うさぎとらしたいぅ　ささげた(97)
うさぎむぬー　お供え物を（73）
うちぅ　打つ（27）
うちぅたいじゅー　打った（29）
うちぅんかいどぅ　内側に（81）
うてぃや　～では（29）
うでぃ　うで（10）
うとぅとぅ　弟（9・75）
うとぅもー　すー
お供しましょう
（お見送りしましょう）（73）
うぬ　その（97）
うぬ　ぷかぬ　この他の（81）
うぱーた　たくさん（69）
うぱーたどぅ　大勢（50）
うぱーたぬ　多くの（50）
うぼーぷ　ないぅちぅかー
大きくなったら（7）
うぼーぷぬ　大きな（50）
うまかもー　あちこち（50）
うみす　おはし（15）
うむい　ういぅさい
思っているのだ（97）
うむい　ういすがどぅ
思っているんだけど（45）
うむいぅさーい　考えています（7）
うむーちぅかー
思っているうちは（80）
うむっし　好きな（7）
うや　お父さん（9）
うやからどぅ　父から（17）
うゆぎぅぬ
スイムの（泳ぎの，水泳の）（50）
うりゃー　それは（43）

み～ん
あ～う
宮古

お

おー　はい（目上に対する場合）（19·25·41·47）
おーおーぬ　いむ　青い海（50）
おーおーぬ　すら　青い空（50）
おーゆばー　王を（97）

か

かい　～に（31・33・43）
かい　きし　ふぃーる
買ってきてちょうだい（39）
かい　くーっちゃー
買ってこようか（39）
かかいぅ　かかる（81）
かかい　ういぅ　書かれた（21）
かぎ　良い（66）
かぎぎぅんな　きれいな着物（75）
かぎとぅくる　美しい景色（50）
かぎぱながもー　きれいな花を（31）
かき　みーちぅかー
書いてみると（97）
かぎむぬ　きれいです（50）
かぎ　わーちぅきぅ　やーば
良い天気なので（99）
かぎ　わーちぅきぅん　なり
良い天気になって（17）
がざまぎー　ガジュマル（35）
かじぬどぅ　風が（50）
かじゃー　風は（81）
かずだき　数だけ（69）
かたむしぅ　かた（11）
かなう　むぬぬどぅ
かなう者が（81）
かなっさどぅ　愛故に（81）
かなまいぅ　頭（10）
かならじぅ　必ず（51）
かのー　かなう（81）
かまぬ　あそこの（39）
からじぅ　髪（10）
かんずーむどぅ　やたいぅ
敏感であった（97）

き

きーぬ　木の（35）
きぃむぐりーぐりん　なり　うたいぅ　気が動転した（97）
ぎぅさから　先ほどから（23）
きぅだいぅくに　島にんじん（23）
きぅぬー　ちぅき
気を付けて（13·25）
きぅぬぬ　昨日の（17）
ぎぅばり　頑張って（25）
きぅむ　心（81）
きぅむ　あらーしぅ
気持ちを表す（87）
きぅむすだーしぅき
気持ち良い（51）
きぅむぬ　すくから　かなしぅっさてぃどぅ　うむう
心からかわいく思う（87）
きぅむぬどぅ　やむ
心が痛む（87）
きぅむ　やぱ　心やさしい（87）
きぅむ　んてぃーんてぃ
心が満ち足りる（87）
きぅもー　わいてぃ
心を引き締めて（27）
きし　着るがいい（97）
きみたいぅ　決意した（97）
きゅーから　今日から（73）
きゅーぬ　今日の（21·23·75）
きゅーまい　今日も（19・25）
きゅーや　今日は
（17・23・25・29・33・43・60・71・75・99）

く

くいしー　これで（25）
くーっづぃ　きぅしぅたいぅ
準備してきました（71）
くーでぃー　来ます（41）
くーよー　来てね（41）
くさんみ　背中（11）
くしぅ　腰（11）
くっづぁ　ふくらはぎ（11）
くとぅしぅまい　今年も（66）
くとぅば　言葉（87）
くば　ビロウ（35）
くまー　ここ（21）
くまからー　これから（50）
ぐみ　組（27）
くらしどぅ　きぅしぅたいぅ
暮らしてきた（97）
くりゃー　これは（41）

こ

ごーら　にがうり（23）
ごーらいいぅきぅ
にがうり炒め（23）

さ

さーい　～です（7）
さーり　いき　連れて行って（60）
さーる　カマキリ（37）
さい　～です（7）
さがい　さびしい（87）
さきぅ　岬（51）
さきぅん　いかってぃーぬ　なかばがまんな　岬の途中には（51）
さぎやー　下げよう（69）
さとぅぬ　ぼくじんどぅ　やいぅ
里の牧人である（97）
さにん　ゲットウ（35）
さびぅしぅむぬ　さびしい（87）
さらさらてぃ　サラサラとして（50）

し

しー　～をして（21）
しーが　～をして（33）
しーみー　してみよう（27）
しぅる　お汁（15）
じぅかんどーや　時間だよ（13）
しぅとぅがちぅ　お盆（73）
しぅっさす　告げる（50）
しぅったいぅどーや
～してやったよ（17）
しぅまいぅやー　終わろう（25）
しぅまじぅーんどぅ　島中に（60）
しぅまぬ　島の，故郷の（60・90）
しぅまぴぅとぅちゃーなー　あらだなしー　島の人だけでなく（50）
しぅるまかい　汁わん（15）
したうかい　紹介（9）
しゃしんな　ぬーりぬ
写真が載る（51）
しゃしんぬ　写真を（75）
しゃしんやーんかい　写真館へ（75）
しゅー（うぷじぅ）
おじいさん（9・33・81）
じゅーさんよーいぅ　十三祝い（75）
じゅうるくにちぅ　十六日祭（71）
じゅぎょーゆ　授業を（19）
しょーがちぅ　正月（66）
しょーがちぅぬ　あいさっちぅ
年頭のあいさつを（66）
しょーがちぅぬ　あがいてぃどー
初日の出（51）
じょーじぅん　上手に（33）
しょーっつぁまーり
気を利かせて（97）
じょーぶんさーい　いいよ（21）
じょーぶんどーや
～していいよ（45）
じょーぶんな　あらんな
良いだろう（43）
しらびみー
調べてみよう（35・37・90）
しんしーん　先生に（7·29）
じん　お金（77）
じんぬ　お金を（77）

す

すー　おかず（15）
ずー
さぁ（13・15・27・43・45・71・73）
すー　しよう（99）
ずー　行こう（31・33・99）
すーってぃ　～するのに（17）
すーてぃ　～します（9·27）
すーでぃ　～します（66）
すーでぃな　～しますか（19）
すーでぃがらやー
どうしよう（80）
じぅーぬ　しぅたぬ　がま
地下の洞くつ（50）
すっしぅ　とぅきゃんな
するときには（50）
すったいぅ　どーや　～したよ（25）
すてぃちぅぬ　ぱーしー
ソテツの葉で（33）
すみ　染めて（31）
するい　そろって（27）
するばん　そろばん（77）

せ

せいじやー　すっさいん
政治が分からぬ（97）

そ

ぞー　ぴぅかじぅどぅ　良い日（29）
ぞーかりゃー　いいかな（31）
ぞー　かんがい
良い考えですね（43）
ぞー　どぅっさ　よき友は（97）
ぞーむぬさいが　良かったね（29）
ぞーむぬやー　良かったね（17）

た

だいじぅなむぬ　大切なもの（81）
だいじぅんすー
大切にしよう（80）
だいひょーっす　代表する（50）
たうきゃーぬ　一人の（97）
たかーたかぬ　高い（80）
たかぎー　高木（81）
たかさーしー　ふぃーさーち
よろしくお願いします（66）
たっかーし　ぬりたくって（60）
たてぃだてぃ　いろいろな（33）
たまな　キャベツ（23・39・41）
たみ　集中して（27）
たもー　なぎぅ　球を投げる（27）
たんかーよーいぅんどぅ
満一歳の誕生祝いに（77）
たんでぃがーたんでぃ
ありがとうございました（25・41）

ち

ちーあら（ずーあら）
さあ，それでは（31）
ちぅぐしぅ　ひざ（10）
ちぅみゅー　爪（31）
ちぅんだらーしぅ
かわいそう（87）
ちぅんだらーしぅ　悲劇の（51）
ちびたいぅ（ちび）　お尻（11）
ちゃばん　湯飲み茶わん（15）

つ

っゔぁー　君は（97）
つかいみー　使ってみよう（99）
つぎゃーり　ういぅさーい
結ばれています
（つながっています）（51）
つぎゃーり　うてぃ
つながっていて（51）
つっふぁ　作ろう（33·90）
つっふぁ　作りましょう（90）
つっふぁってぃ
作りたいから（33）
つっふぃみー　作ってみよう（33）
つっふぃ　作って（69）
つっふうたいぅ　作った（33）
っふぃ　ういば
雨が降っているから（99）

て

てぃー　手（10）
てぃーぬぴぅさ　手の平（10）
てぃーや　かみってぃから
手を合わせて（71）
てぃんさぐ　ホウセンカ（31）

と

とぅいぅ　ニワトリ（37）
とぅいぅ　鳥（50）
とぅいぅたいぅてぃーぬ
取ったんだって（77）
とぅいが　撮りに（75）
とぅいが　取りに（31）
どぅーだしぅき　自らを助ける（81）
どぅーぬ　ふうちぅんかいどぅ
自分の口に（81）
どぅが　んーなんかい
自分の身体に（60）
どぅくる　場所（所）（51）
とぅくるさーい　所です（50）
とぅしぬ　年の（69）
とぅばいどぅ　っしぅさいが
跳べたぞー（80）
とぅばいどぅ　っしぅぴゃーやー
跳べるかなぁ（80）
とぅばっどー　跳ぶぞ（80）
どぅふうきうぎー　デイゴ（35）
どぅまっづ　いぎいたいぅ
まごついた（97）
とぅみが　探しに（31）
とぅみみー　探してみよう（90）
とぅみりばが　探せば（31）
とぅゆむ　有名な（51）
とぅらぬぱぬ　南東の（51）
どぅるいむ　湿原（50）
どぅろー　泥を（60）

な

なー　名前（35・37・99）
なーだか　有名な（60）
なーだか　とぅくるさーい
有名な所です（50）
なーや　名前は（7・99）
なーや　とぅゆまし　ういぅ
名を知られる（51）
ながさー　長さは（50）
なかちぅがーしぅ　クマゼミ（33）
なきぅぐい　鳴き声（37）
なちぅぬ　きぅしゅーてぃ
夏の訪れを（50）
なびがーしぅ
リュウキュウアブラゼミ（37）
ならーし　とぅらしぅたいぅ
教えてやった（97）
ならーしぅ　ふぃーさーち
お願いします（19）
ならーしぅ　ふぃーる
教えてくれない？（21・99）
ならい　習って（17・19）
ならいみーる
習ってみましょう（81）
ならってぃどぅ　なりたいと（7）
なり　ういぅ
～になっている（50・66）
なろーが　習いに（33）
なんぎ　しぅたいぅ　どーや
苦労したよ（17）

ぬ

ぬぶい　のど（11）

の

のーいぅ　直る（87）
のーがらーゆ　何か（99）

は～ん

のーがらやー　何だろう（23）
のーしーが　やたいぅ
どうだった（77）
のーしーり　何をして（21）
のーぬ　何の（21）
のーぬが　何が（45）
のーばしーが　どうしよう（80）
のーばしーが　やたりゃー
どうだった　（29）
のーまい　ならん
しょうがない（80）
のーゆ　しーがー　何をして（21）
のーゆ　何を（31・33）
のーゆが　かーでぃ
何を買うの？（41）
のーゆが
どんな，何を（19・33・39・77）

は

はーい　やぁ（7・17）
ばーや　私は（17・45）
ばーやー　私は（33）
ぱーんとぅー　パーントゥ（60）
ぱいーぱい　ういば
似合っているから（75）
ばが　私の（7・99）
ばかーり　分かれて（27）
ばがどぅ　私は（77）
ばがなーや　私の名前は（7）
ばかんかい　墓参りに（71）
ばぎぅ　足（11）
ぱぎぅぬういび　足の指（10）
ぱぎぅぬくー　足のこう（11）
ぱじぅまいぅ　始まります（13）
ぱずみでぃ　始める（19）
ばそーないぅ　バナナ（35）
ばそーぬぬ　バショウ（35）
ばたー　ふうさりゅーたいぅ
激怒した（97）
ばたー　やーすーやーす
お腹が空いている（23）
ばたーんちぅきゃ　ふぁいよー
お腹いっぱい食べてね（69）
ぱだこー　裸を（97）
ぱちぅ　ハチ（37）
ばっしぃぅなよー
忘れるなよ（25）
ばていむぬー　勇者は（97）
ぱな　花（31）
ぱな　鼻（11）
ぱなし　みーる　話してごらん（99）
ぱなん　端（51）
ばぬー　私を（60）
ぱぴいぅ　チョウ（37）

ぱまーしー　ビーチ（浜）で（50）
ばら　お腹（10）
ばん　私（19）
ばんたがー
私たち（9・60・87・90）
ばんまい　私も（23）

ひ

ぴーいぅ　トンボ（37）
ぴーや　ふうき　笛を吹き（97）
ぴぅさぬ　だき　足甲の高さ（80）
ぴぅさらぬ　平良の（7）
ぴぅしぅま　ゆくーんな
昼休みの時間（21）
ぴぅだいぅ　左（10）
ぴぅてぃーちぅ　ひとつ（69）
ぴぅとぅー　人を（60）
ぴぅとぅかたん　一芸（81）
ぴきぅ（女から見た）兄弟（9）
ぴききょーだい　兄弟（9）
ぴぎどぅん　男（9）
ぴっとぅ　羊と（97）
ぴとぅだすきゃー　人助けは（81）
ぴとぅぬぱいまい　人一倍（97）
ひぶんう　碑文を（90）
ぴゃーかたいばどぅ
早かったので（23）
ぴゃーまり　早く（13・97）
ぴょーすんな　たまに（43）
ぴりよー　帰りなさいね（25）
ぴんざ　ヤギ（37）

ふ

ふぁー
食べよう，いただきましょう（13・15・45・73）
ふぁーいいぅ　食われて（81）
ふぁいみー　食べてみよう（69）
ふぁいよー　食べなさいね（15）
ふぁっとー
いただきます（13・45）
ふいーさーち　ください（41・60）
ふいーじゃーんな
行ってくれるかな（39）
ふうかーふうかぬ　とぅくるん　うてぃ　深いところで（51）
ふうぎぅだーき　首の高さ（80）
ふうき　ぴぅいぅ
吹き抜けていきます（51）
ふうさばながましー　草で（33）
ふぅさばなとぅか　草花や（35）
ふうたーちぅぬ　二つの（51）
ふうちぅ　口（11）
ふうなた　カエル（39）

ふおーいが　食べに（43）
ふおーぬどぅ　食べるのが（23）
ふおーぶしぅかいぅ　むぬー
好きなもの（食べたいもの）（45）
ふおーむぬ　食べ物（43）
ぶかなさだかーならんてぃ
除かねばならぬ（97）
ぶかぬ　他の（33）
ぶからしぅきやー
うれしそうだね（75）
ぶかんかい　外に（43）
ふでぃ　筆（77）
ぶないぅ（男から見た）姉妹（9）
ぶみらいたいぅ　ほめられた（29）
ぶりいぅ　折れる（81）

ほ

ほんぬが　本を（21）
ほんぬどぅ　本を（21）

ま

まーちぅき
一緒に（13・15・60・90・99）
まい　前（27）
まい　あいぅ　～もある（50）
まい　ありってぃ　～もあり（50）
まいぅ　米（39・41）
まいぅ　ご飯（15・77）
まいぅしぅじぅ　ご飯粒（15）
まいふうかがま　いい子だね（39）
まかいぅ　茶わん（15）
ましぅ　いい（45）
まずがーてぃ　まずは（27）
まちぅかにどぅ　ういぅ
待ち遠しい（23）
まちぅぎー　リュウキュウマツ（35）
まちぅりどーや　祭りなんだよ（60）
まっざー　まずは（90）
まっちゃん　うてぃ　お店にて（41）
まっちゃんき　お店へ（39）
まなーんてぃ
しっかり（きちんと）（15）
まむやが　ぱかまいどぅ
マムヤの墓も（51）
まゆ　ネコ（9・37）
まゆ　まゆ（11）
まんなかん　真ん中に（50）

み

みー　目（11）
みーが　きぅしぅ　訪れます（50）
みーが　見に（60）
みーらいいぅ
見ることができる（50）

みーらいいぅ　見える（51）
みーらいすーどぅ
見られるのが（97）
みじぅらしぅ　とぅくるさーい
貴重な場所です（50）
みどぅん　女（9）
みどぅんうとぅとぅ　妹（9）
みどぅんきょうーだい　姉妹（9）
みどぅんやらびぬどぅ　少女が（97）
みぱな　顔（11）
みぱなー　あかーあかしー
赤面し（97）
みゃーくー　宮古島を（50）
みゃーくぬ
宮古の（21・50・60）
みゃーくふうちぅ　宮古言葉（99）
みゃーくふうちぅっし
宮古言葉で（97）
みゃーくんうてぃや　宮古では（60）
みゃーくんかいどぅ　宮古島の（50）

む

むしぅかぐー　虫カゴ（33）
むしぅがま・むしぅ　昆虫（37・50）
むちぅかしぅ　むぬやー
難しいね（21）
むっちぅう　むーちーを（69）
むとぅぴぅ　野イチゴ（35）
むぬー　かい　きぅし　買い物（39）
むぬー　こー　買い物をする（39）
むむ（に）　もも（11）
むむかたん　百芸（81）

や

やーでぃゆ　家族（9）
やーば
なので（だから）（27・60・71）
やーんかい　家に（25）
やたいぅ　～だった（29）
やちぅかー　それでは（33）
やちぅかー　だったら（31）
やな　ざいぐとぅんかいや
邪悪な事には（97）
やまとぅぬ　観光客まい
ヤマトの観光客も（50）
やまばとー　山鳩（81）
やむ　痛む（87）

ゆ

ゆーどぅ　ぱいぱい　ういぅじゃー
よく似合っているね（75）
ゆーな　オオハマボウ（35）
ゆくーとぅきゃーんな
休み時間のときには（21）

ゆにむい　ユニムイ（池間湿原）（50）
ゆみ　ういぅさーい
読んでいるよ（21）
ゆみゅーりゃー
読んでいるの？（21）
ゆむぬ　ネズミ（37）

わ

わー　ブタ（37）

ん

んかい　お迎えしましょう（73）
んかいやー　お迎えしましょう（73）
んがな
はい（目下の人に対する場合）（19・27・39）
んぎぅ　右（10）
んきぎいぅ　召し上がる（15）
んきぎさーち　食べてください，お召し上がりください（13・71）
んきぎさまち
お召し上がりください（73）
んきゃーん　ぱなしぅぬ
昔物語が（21）
んきゃーん　ぴぅとぅぬきゃーぬ
昔の人たちの（80）
んきゃーんから　昔から（90）
んきゃーんじゅくう
ことわざ（80・81）
んざん　どこに（31）
んざんかいが　どこに（43）
んじんかい　すーでぃからやーてぃ
どれにしようかと（45）
んてぃーんてぃ　満ち足りる（87）
んな　～では（29）
んなまー　今は（27）
んなまから
これから（19・27・39）
んにゃ　もう（13）
んま（ぱーんま，うぷあんな）
おばあさん（9・81）
んまー　んまーどぅ　やたいぅ
ごちそうさまでした（13・15）
んまーんまやー　美味しいね（45）
んまぎやー
美味しそうだね（45・69）
んまむぬー
美味しいもの，ごちそう（45・71）
んまむぬー　ふぁー
ごちそうをいただこう（71）
んまむぬぬどぅ　美味しいものが（29）
んまりさい　生まれてす（7）
んまんかいぅがらやー
美味しいかな？（45）

んみ　とぅとぅみきぅ
胸騒ぎがする（87）
んみゃーち　いらっしゃい（41）
んもーい　かーさちー
ごめんください（41）
んー
はい，うん（13・19・21・27・39）
んーな　カタツムリ（37）
んーなが　みんなの（87）
んーなぐーや　砂は（50）
んーなしー　みんなで・全部で（41・71）
んーなん　みんなに（97）

宮古

八重山（四箇言葉）

あ

あーさする　アーサ汁（23）
あーみ　雨（83）
あーみぬ　ふいりき
雨が降っているから（99）
あいしょーるん　召し上がる（15）
あうだ　カエル（37）
あかうむていすん　赤面した（97）
あかまず　髪（10）
あさば　遊ぼう（21・33）
あさぶかやー　遊ぼうか？（33）
あさぴな　はら 遊びに行こう（99）
あざま　三男（9）
あすばりん　遊べるよ（31）
あすびぬ　遊びが（31）
あすびゃ　遊ぼうか（21）
あだがやー　あるかな（45）
あたらさーる　むぬ
大切なものです（83）
あたりてぃ　合っていたので（29）
あっかん　アカギ（35）
あったらさ　しーよー
大切にしよう（82）
あったらさーん　かわいいね（77）
あっちゃー　お父さん（75）
あっつぁらー　明日（25）
あっぱー　お母さん（75）
あっぱりしゃー　そーらー
とてもきれいだね（75）
あつめー　集めて（33）
あどぅ　かかと（11）
あとぅ　あとーや　将来は（7）
あぬ　あそこの・あの（39・97）
あまくま　あちこち（52）
あらんば　じゃないか（97）
あるかやー　あるかな（31）
あん　あらぬ　あるでしょう（31）
あんがまー　アンガマ（62）
あんかやー　あるかな（31）
あんかれーり　勧め（52）
あんくだ　教えた（97）
あんくむぬゆ　～です（7）
あんじー　そうか（23・29・31・82）
あんじらー
そうそう（そうだね）（33）
あんずかー
それでは（27・31・33・39・69）
あんてー　そして（29）

い

いー　良い（17・29・67・82）
いー　はい
（目下の人に対する場合）（19）
いかされーすん
生きているのも（53）
いからー　行こう（27・31）
いき　くい　行ってくるね（39）
いき　くーいー
行ってきます（13）
いき　くーよー
行ってらっしゃい（39）
いきってみしらー
見に行こう（62）
いきむす　生き物（37）
いくねー　行けば（31）
いくん　ゆー　行く（41）
いくん　行く（17）
いこーびかやー
いくらですか（41）
いじ　みやみーり（いじみーり）
話してごらん（99）
いじぇーる　言った（83）
いじみやーむー
使ってみよう（99）
いしゃなぎら　石垣（52）
いじゅ　イジュ（35）
いでーだ　出ていた（29）
いびー　あぁ（69）
いらぶかやー　選ぶかな（77）
いりーかやー　入れようかな（33）
いりぷさーる　入れたいなぁ（33）
いん　犬（9）
いんぬ　海の（52）
いんぬふぁーぬ　ちぐち
北西部（52）

う

うー　はい（目上の人に対する場合）
（19・25・27）
うーる　さんご（53）
うぇんちゅ　ネズミ（37）
うきなー　沖縄（52）
うきりよー　起きなさい（13）
うくる　さーなら
お見送りしましょう（73）
うしゅまい　おじいさん（9・33・83）
うすぬ　にくどぅ
ステーキ（牛の肉）（45）
うちぅなんがれー　中では（52）
うつだ　打った（29）
うでぃ　うで（10）
うとぅどぅ　弟（9）
うとぅどぅびきりぅ　弟（9）
うとぅどぅぶなりぅ　妹（9）
うとぅどぅぶなるぬ　妹の（75）
うぬふかぬ　この他の（83）
うび　指（10）
うまー　ここは（21）
うむやーうすんが
思っているんだけど（45）
うむいゆ　気持ち（87）
うむっさんどぅ
おもしろいよ（62）
うむやー　思って（83）
うやぬくいやー　親の声は（83）
うりから　それから（29）
うりたんがーや　あらん
それだけではありません（53）
うれー　それは（43）
うわりてぃ　終わろう（25）

え

えいごの　はなしょー　英会話（19）

お

おいしとーんなーらー
お召し上がりください（71）
おいしょーり
お召し上がりください（73）
おいしょーり　食べなさいね（15）
おいしょーるん　召し上がる（15）
おいすだー　ささげた（97）
おー　はい（13）
おー　ぶた（37）
おー（目上に対する場合）
はい（39）
おーつき　かいしゃーりき
良い天気（99）
おーつき　なり　天気になって（17）
おーりとーり　いらっしゃい（41）

か

かい　～へ・～に（17・33・43）
かいきー　ひーらぬ
買い物に行ってくれるかな（39）
かいきー　ひーりゃ
買ってきてちょうだい（39）
かいしゃーる
きれいな・美しい（31・51・53・75）
かいしゃーる　きん
きれいな着物（75）
かいな　はるん
買い物に行く（39）
かいむぬ　しに　買い物に（41）
かきみょーら
書いてみると（7・97）
かぎぅっちゃ　カマキリ（37）
かけーず　トンボ（37）
がざむねー　ガジュマル（35）
がじぇーら　かた（11）
かーしょーり
（売って）ください（41）
かたみ　約束（82）
がっちゃー　二男（9）
かてぃむぬ　おかず（15）
かなさーる　かわいい（97）
かにごーやー　黄金虫（37）
かやーって　買ってこようか（39）
かよーるねーら　買うの（41）
かんがいがー　考えると（82）
かんじー　こんな風に（82）
かんぬくぃ　神の声（83）
かんばい　しゃーだ
敏感であった（97）

き

きーきかし　気を利かせて（97）
きーぬ　くりむし　木ぼりの像（52）
きぅー　しぅめーり
心を引き締めて（27）
きぅー　ちぅけー
気を付けて（13・25）
きぅむ　肝（心）（83）
きぅむ　のーすん　機嫌を直す（87）
きぅむぬ　やむん　心が痛む（87）
きぅむあーりぅ，きぅむさわぎぅ
胸騒ぎがする（87）
きぅむから　かなさーん
心からかわいく思う（87）
きぅむんぐりしゃーん
かわいそう（87）
きぅむしかさーん
心さびしい（87）
きぅむぬ　やふぁさーん
心やさしい（87）
きぅむ　ふぎるん
心が満ち足りる（87）
きぅんだいくに　島にんじん（23）
きさから　先ほどから（23）
きすそー　ます　着るがよい（97）
きぬーぬ　昨日の（17）
ぎばり　頑張って（25）
きめーた　決意した（97）
きゅーから　今日から（73）
きゅーぬ　今日の（21・75）
きゅーや
今日は
（13・17・23・25・27・29・33・43・
62・71・75・99）
きゅーん　今日も（13・19・25）
きんじゃく　ホウセンカの花（31）
きんどー　来る（降っている）（83）

く

ぐしょーくぬはな
ハイビスカス（35・53）
くす　こし（11）
くす　背中（11）
くたいぬ　答えが（29）
くちさーる　くやしい（97）
くとぅば　言葉（87）
くとぅばり　くぃー
断ってくるね（82）
くぬ　つぐちぇー
この湾（本文では川平湾）（52）
くぬしぅまぬ
この島の（本文では石垣島をいう）
（52）
くば　ビロウ（35）
くよーんなーら
ごめんください（41）
くよーんなーらー　こんにちは（7）
くりから　これから（19・27）
くりからーや　これからは（52）
くりし　これで（25）
くれー　これは（41）
くんじょーくれ　激怒した（97）

け

けーらし　みんなで（71）

こ

ごーやー　にがうり（23）
こっきー　ごちそう（71）
こっきー　とーらりだゆー
ごちそうさまでした（13・15）

さ

さー　さぁ（27）
さーでぃ　やろうぜ（82）
さーり　いき　ひょーり
連れていって下さい（62）
さんさん　クマゼミ（33・37）
さげー　みやーむー　下げよう（69）
さにんしゃんがさー　そーらー
うれしそうだね（75）
ざまどぅり　まごついた（97）
さみん　さんみん　ゲットウ（35）
さらー　～します（27）

し

しーみやーむー　してみよう（27）
しぃさぬ　わからぬ（97）
しーり　～して（27）
じーわ　クロイワツクツク（37）
しぅきよー　聞きなさいよ（83）
しぅまぬ
島の（本文では石垣島）（52・62）
しぅるまかる　汁わん（15）
しぇーすんが　している（82）
しか　石垣市四箇（7・52）
しこーりきーだ　準備（71）
しこーりむぬ　お供え物（73）
しじゃ　兄（9）
しじゃぶなりぅ　姉（9）
してぃーずぬ　はーし
ソテツの葉で（33）
しとぅむでぃぬ　んばん
朝ごはん（13・23）
しな　はるん　～します（27）
じゅーさんぬよい　十三祝い（75）
じゅーるくにちぅ　十六日祭（71）
しゅむつどぅ　本を（21）
じょーとーに　上手に（33）
じょーとーらー　良かったね（17）
しょーるん　しますか（19）
しょんぐゎじぅらー　正月です（67）
しらびららー
調べてみましょう（90）
しらべー　みやー
調べてみよう（35・37）
じん　お金（77）
しんしーかい　先生に（7・29）

す

ずぅぐ　でいご（35）
すーそー　～をするの（17）
すーだ　～したよ（25）
すーだゆー　～したよ（17）
すーぬ　海水（52）
すかりそーや　好きなのは（7）
すくり　みやーむ
作ってみよう（33）
すすいのーぬ　みちぅ
白砂の道（53）
すないだ　むぬ（こっきー）
お供えしたごちそう（73）
すなだ　風景（53）
すぱぴぅさなんが　左右（52）
ずぶんまい　大会前（27）
ずまかい　どこに（31）
ずまかい　はりゃー
どこに行きますか（43）
ずまんかどぅ　どこに（31）
すめー　染めて（31）
する　おつゆ（15）
するいり　そろって（27）
するばん　そろばん（77）

そ〜め

そ

そーろん　お盆（73）
ぞぞー　さぁ（43）

た

たかーに
いっぱい　たくさん(31·69)
たかでぃ　高台（52）
たちぅかー　立っているところ(83)
だぶら　ふくらはぎ（11）
たまなー　キャベツ（23·39·41）
たぬみゃ　注文しなさい（45）
たろーやかん　人一倍（97）
たんかーよい
満一歳の誕生祝い（77）

ち

ちぅかさりだー　招待された（77）
ちぅななー　網目（82）
ちぅぶしぅ　ひざ（10）
ちぅみ　爪（31）
ちきゅーんがれー
世界中では(53)
ちび　おしり（11）
ちゃばん　湯飲み茶わん（15）
ちゅくららー　作りましょう（90）
ちょーみん　帳面（77）

つ

つかーれーる　使われる（52）
つかさなーら
ご案内しましょう(52)
つくら　作ろう（33）
つくりぶさーりきー
作りかいから(33)
つくるだ　建てられた（52）
つくれーりきー
作ってあるから(69)
つくれーる　作った（33）
っさりんゆー　～をします（67）
っさりんゆー　紹介します（9）
つたいる　伝える（87）
つだみ　カタツムリ（37）
っぶる　頭（10）
つら　顔（11）
っんぼん　ご飯（15·77）
っんぼんつぶ　ご飯粒（15）
っんぼんまかい　茶わん（15）

て

てぃー　うさーし
手を合わせて（71）
でぃー　さぁ（13·31·43·71）
てぃー　手（10）
てぃーぬぴら　手の平（10）
でぃかしぇーれんゆらー
良かった（でかした）ね（29）
でーじぅ　ひどく（97）
てーどぅん　竹富島（53）

と

といみな　探しに（31）
とーぬ　ふぁいむぬ
中華料理（45）
どぅしぅ　友だち（82）
どぅすぉーや　友は（97）
とぅすぬ　手の（69）
とぅったかやー
取ったんだって(77)
とぅなが　卵（15）
とぅながやき　卵焼き（15）
とぅびんでーる　代表する（53）
とぅみな　探しに（31）
とぅみばどぅ　探せば（31）
とぅみらんば　選ぶよ（45）
とぅめーむーら
探してみましょう（90）
とぅんな　はら
（写真）を撮りに行こう（75）
とぅんな　取りに（31）
とーらりら　いただこう（71）
とーらりるんどー（とーらるなーらー）いただきます（45）
とーらりるんゆー
いただきます(13)
とーらるなーらー
いただきます(13)

な

なー　名前（37）
なー　うつぁれーんどー
有名なんだよ（62）
なーびかちかちー
リュウキュウアブラゼミ（37）
なーむちるとぅくる
有名な場所（52）
なーや　名前は（7·99）
なういみーら
習ってみましょう(83)
なきぐい　鳴き声（37）
なま　現在（52）
なまから　これから（39）
ならーし　教えて（19）
ならーし　ひーりゃ
教えてちょうだい（99）
ならーし　ひょーり
教えてください(21)
ならい　くー　習いに行こう（33）
ならい　くーでぃー
習いに行こう(33)
ならい　みーら
習ってみましょう(83)
ならいり　習って（17）
ならいるかやー
習っているのかな(19)
なりどぅ　うるゆー
～になります（7）
なりぶさんゆー　なりたいです
なんぎしー　苦労（17）

に

にあいそー　似合っているね（75）
にふぁいゆー
ありがとうございました(25·45)
にふぁいゆー　ふこーらさゆ
ありがとう（41）
にふぁどー　ありがとう（82）
にゃーりきー
似合っているから(75)
にんとぅぬ　年頭の（67）

ぬ

ぬきなすんで　取り除く（97）
ぬくりる　残っている（52）
ぬすとぅる　泥棒（どろぼう）(83)
ぬまるぬ　飲めない（83）

ね

ねーら　右（10）

の

のーかやー　何かな（23）
のーしーり　何をして（21）
のーしどぅ　うだ
どうだった（何かあった）(29)
のーしどぅ　うだかやー
どうだった(77)
のーしぬ　どんな（31）
のーしる　むぬゆ　どんなこと（19）
のーどぅ　何を(33·39·41·45·77)
のーどぅしー　何をして（33）
のーどぅ　ほーだー　食べたか（13）
のーぬ　何の（21·31·35）
のーやかん　たまらなく（97）
のーんがさ　何か（99）
のーんくい　しこーれーる
いろいろな(43)
のどぅ　のど（11）

八重山

は

ばのーや　私の名前は（7）
ばー　私の（7·99）
はいしゃ　ぼーだーどぅ
食べるのが早かったので（23）
はいしゃ　早く（13）
ばがー　私たち（62）
ばがーしぅま　うた
私たちの故郷の歌（90）
ばがだー　けーらぬ　みんなの(87)
ばがれー　分かれて（27）
ぱくん　かけられる（82）
ぱしぅ　おはし（15）
ぱじぅ　ハチ（37）
ばしぅきなよー　忘れるなよ（25）
はじまるんどー　始まります（13）
はじまるんどー　始まるぞ（83）
はじみら　いこう（始めよう）(27)
はじみんどー　始めるよ（19）
ばそー　バショウ（35）
ばそーきん　芭蕉布（35）
ばそんなる　バナナ（35）
ばだ　お腹（10）
ぱだかー　真っ裸（97）
ばだぬ　んつんけん
お腹いっぱい(69)
ぱな　鼻（11）
ばなー　私は（17·33·45·77）
ばなーや　私は（45）
ばぬ　私（9）
ばぬん　私も（23·62）
はべる（チョウ）(37)
ばしょーや　～のときには（21）
はら
行こう・行きましょう（31·43）
はらぬ　行かんか（82）
はらばどぅ　行けば（31）
ばらら—　行こう（71）
ぱり　針（83）
はりよー　いってらっしゃい（13）
はる　行く（82）
ぱるん　行く（17）
ぱん　足（11）
ぱんぬぴさ　足のこう（11）

ひ

ぴーふりき　笛を吹き（97）
ぴーりぅ　（畳の）縁（82）
ぴぅとぅげんなーや　たまには(43)
ぴぅとぅだーぬ　人たち（82）
ぴぎどぅん　男（9）
ぴげー　お父さん（9·17·75）
ぴだる　左（10）
ぴてぃーず　ひとつ（69）
ぴとぅ　人（83）
ぴとぅいぬ　一日（13）
ぴとぅーりぬ　一人の（97）
ぴぴじゃ　ヤギ（37）
ぴむん　碑文（ひもん）(90)
ぴゅーる　日（29）
ひょーり　ください（19）
ぴろーまゆくいや
昼休みの時間は(21)
ぴろーむのーや
給食は（昼ごはんは）(23·29)
ぴんきょー　勉強（25·99）

ふ

ふぁーなー　赤ちゃん（9）
ふぁいむー　食べよう（15）
ふぁーらー　食べよう（13）
ふっちゃー　長兄（9）
ぷーりぅ　豊年祭（62）
ぷーりぅどぅ　やりき
豊年祭だから（00）
ふかんが　いでー　外に（43）
ふかぬ　くやの(33)
ふかんが　他には（31）
ふしぇー　習癖（83）
ふちぅ　口（83）
ふつ　口（11）
ふでぃ　筆（77）
ぶなりぅびぎりぅ　兄弟姉妹（9）
ぶねー　お母さん（9·75）
ふみらりだ　ほめられた（29）
ふむん　踏む（82）
ふんとーぬ　かたちぅし
実戦形式で（27）

へ

ぺー　足の指（10）
ぺーぐ　早く（97）
ぺーりふちぅ　山門（52）
ぺん　ひざ（10）

ほ

ほいー　みやーむー
さぁ食べよう・食べに行こう
（43·45·69）
ほいぶさーる　むぬ
食べたいもの（45）
ほいむぬやー　レストラン（43）
ほいよー　食べてね（69）
ほーかやーで　食べようかと（45）
ぼーれーぼーれー
いい子だね（39）

ま

まーずん　一緒に（13·17·82·99）
まーぞん　一緒に（90）
まーぞんさーり　一緒に（62）
まーりみせーり
多くの人たち（52）
まい　米（39·41）
まいしゃーる　大きな（53）
まじぅ　まずは（90）
ます　いい（45）
まぞー　まずは（27）
また　くーよー　また来てね（41）
まちぅ　リュウキュウマツ（35）
まちかんてぃー　しーだゆー
待ち遠しかった（23）
まちや　お店（39）
まつやかい　お店に（41）
まやー　猫（9·37）
まよー　まゆ（11）
まりじょー　性分（90）
まりゆー　生まれです（7）

み

みー　目（11）
みーどぅなー　少女（97）
みーどぅん　女（9）
みぐぅとぅ　見事なものだ（62）
みしゃーる　すず　いいのか（82）
みしゃーるかやー　いいかな（31）
みしゃーんさー
良いだろう・良い考えですね（43）
みしゃーんどぅらー　いいよ（21）
みらりすどぅ　見られるのが（97）

む

むーるかい　皆に（97）
むーるさーり　みんなで（71）
むーるし　合計（全部）で（41）
むかしぅむに　ことわざ（83）
むかす　昔（82）
むかすばなしぅぬ　かけーる
昔物語が書かれた（21）
むしぅかごー　虫カゴ（33）
むちぅ　仲良くする（82）
むつ　むーちー（69）
むつかさ　そーらー　難しいね(21)
むとぅ　もと（83）
むぬ　物（33·39）
むねー　言葉（83）
むむったる　もも（11）
むんどー　問答（62）

め

めー　もう（13）

も

もーぎぬ　虹の（83）

や

やーさ　しーだ（しーる）
お腹が空いていた（23）
やーどぅる　ニワトリ（37）
やーにんじゅー　家族（9）
やーぬ　家の（53）
やいまぬ　八重山の（21･52）
やすんが　けれども（97）
やすんが　しかし（77）
やすんが　～だよ（13）
やだ　だった（29）
やーかい　はりよー
帰りなさいね（25）
やでーん　必ず（52･97）
やな　悪い（82）
やなむぬ　邪悪な（97）
やふぬ　災いの（83）
やまたんす
リュウキュウバライチゴ（35）
やりき　～なので･だから（27･62）
やりきー　～です（71）
やるかー　～だったら（31）

ゆ

ゆー　～です（7）
ゆー　よく（83）
ゆーな　オオハマボウ（35）
ゆくしむねー　すーかー
嘘をつく（83）
ゆしどぅふ　ゆしどうふ（23）
ゆみりゃ　読んでいるの（21）
ゆみる　読んでいるよ（21）
ゆんぐとぅ　ことわざ（82）
～ゆ　～です（41）

わ

わなー　君は（97）

ん

んかよーららー
お迎えしましょう（73）
んかよーら　お迎えしましょう（73）
んきゃーとーりよー
お召し上がりください（71）
んこーりよー
お召し上がりください（71）
んまさーそーらー
美味しいね（45）
んまさーる　むぬんが
美味しいもの（45）
んまさーるかやー
美味しいかな（45）
んまさーる　むんぬ
美味しいものが（29）
んまさんがしゃー　そーらー
美味しそうだね（45）
んまさんがしゃーそー
美味しそうだね（69）
んみー　おばあさん（9･83）
んー　うん（21）

与那国（祖納言葉）

あ

あー　ああ（69）
あいさてぃ　あいさつ（67）
あいわる　～ですね（43）
あいわるかやー　～ですか（41）
あうだ　カエル（37）
あかちら　なたん　赤面した（97）
あかぬ　赤の（97）
あがみがらやー
赤くなってくると（85）
あがみてぃ　幼児（39）
あがみんが　子どもは（85）
あかやー　あるかな（31・45）
あがんき　アカギ（35）
あぎだん　トンボ（37）
あさ　おじいさん（9・85）
あさんき　おじいさんに（33）
あしや　～してみると（97）
あたいぶたば
合っていたので（29）
あたや　～だったら（31）
あたらる　大切（85）
あたる　～だった（13・15・97）
あちらい　注文（45）
あったや　明日ね（25）
あてぃ　姉（9）
あとぅあとぅや　将来は（7）
あとぅなる　後にある（85）
あどぅびら　かかと（11）
あぬ　私（9・64）
あぬや　私は（17・33・45・77）
あぬん　私も（23）
あはり　苦労（17）
あびゃる　きれいな（31）
あびゃんがえー　きれいだね（75）
あびゃんどー　美しいよ（54）
あぶ　おばあさん（9・85）
あぶた　お母さん（9）
あぶたん　お母さんも（75）
あぶんたがら
おばあさんから（85）
あみ　雨（99）
あやみはびる　ヨナグニサン（37）
あらーぐ　とても（13・15・64）
あらーぐ　ふがらさ
本当にありがとうございました
（25）
あらかいぐ　卵焼き（15）
あらぬない　じゃないか（97）
ある　はでぃどぅ
あるはずだよ（31）
あるんがら
なので・だから（27・64）
あるんが　行きますか（43）
あん　ある（55）
あんが　私の（7・99）
あんしゃみ
リュウキュウツヤハナムグリ（37）
あんばりるや　遊ぼうぜ（21）
あんばりるんどぅー　遊べるよ（31）
あんびー　遊んで（97）
あんびんぬぉー　遊ぼうよ（33）
あんびんが　遊びが（31）
あんびんでぃ　遊びに（99）
あんぶが　遊ぼうか（21）
あんぶんが　遊ぼうか（33）

い

い　ご飯（15・77）
いー　良い（17）
いーどぅち　よき友（97）
いーちどぅ　良い日（29）
いーならいき　良い習慣（85）
いーむぬとぅ　良い人と（85）
いぐらてぃば　いくら（41）
いさとぅまい　カマキリ（37）
いしー　そう（29・31）
いしない　そうか（23）
いしやー　そうそう（33）
いしゃる　やった（17）
いた
それでは（27・31・33・39）
いちぬち　動物（生き物）（37）
いってぃん　一番（54・55）
いってぃん　いりぬ　はてぃぬ
でぃー
最西端の地（33・54）
いていていこー　行ってくるね（39）
いていてぃ　くたよー
行ってきます（13）
いでぃんでぃび　頑張って（25）
いどぅ　イジュ（35）
いぬ　犬（9）
いぬちん　ご飯粒（15）
いや　お父さん（9）
いやがら　父から（17）
いやん　お父さんも（75）
いらばりどぅ　選ぶよ（45）
いらぶかやー　選ぶかな（77）
いりぶさる　入れたいなあ（33）
いりむてぃ　西表（54）
いりらるかやー
入れようかな（33）
いるんが　しかし（77）
いるんな　いろいろな（43）
いるんなむぬ　いろいろな物（33）

う

ういとぅらしわれ
（売って）ください（41）
うか　ふがにや
この他には（31）
うがんふとぅてぃ　豊年祭（64）
うぎり　起きなさい（13）
うさい　ごちそう（71・73）
うし　これで（25）
うた　歌（91）
うたにあるに
歌にも歌われていて（55）
うていたん　打った（29）
うとぅたがる　有名な（55・64）
うとぅたがん　有名です（54）
うとぅだ（びぎぶない）
兄弟・姉妹（9）
うとぅとぅ　弟（9）
うとぅとぅぶない　妹（9）
うとぅとぅぶないぬ　妹の（75）
うぬふがぬ　この他の（85）
うぶいていどぅ　大きな岩が（55）
うぶいゆ　大きな魚を（85）
うまかま　いろんな所（54）
うまどぅ　ここは（54）
うまぬん　思っていない（85）
うまや　ここは（21）
うむいぶる　考えています（7）
うむいぶんがどぅ
思っているんだけど（45）
うむっつぁんどー
おもしろいよ（64）
うむんに　思っているように（85）
うや　これは（41）
うやし　わるん
召し上がる（召し上がれ）（15）
うやしわれ
食べてください（13・73）
うやん　～しましょう（54）
うやんが　親が（85）
うやんとぅ　ネズミ（37）
うゆび　指（10）
うるむさんさんてぃ
イワサキクサゼミ（37）
うんからんき　それから（29）
うんながにある　海にある（55）
うんながんき　いりる
しずんでいく（54）
うんにてぃ　そして（29）

お

おー
はい（目上の人に対する場合）
（13・19・25・27・39）

おー　王（97）

か

かいくかや　買ってこようか（39）
かいし　買って（39）
かいむぬ　買い物（39）
かいむんき　買い物に（39）
かっていある　書かれた（21）
かたぶるち　かた（11）
かでぃ　数の（69）
かでぃ　風・台風（85）
かてぃむぬ　おかず（15）
かてぃん　書いて（97）
かなーでぃ　必ず（97）
かまぬ　あそこの（39）
からん　髪（10）
かんがいどぅ　考え（43）
かんな　うで（10）
かんぬいてぃ　神の岩（55）

き

き　～に（39）
き（一）　～して（21）
きーぬ　木の（85）
きーまちかやんでぃどぅ
しようかと（45）
きーわるな　～をしますか（19）
きさがら　先ほどから（23）
きたんどぅー　～したよ（25）
きてぃ　～して（27）
きるやー　～しよう（99）
きるん　～します（27）
きるんでぃ　～するのに（17）
きるん　～をする（41）
きんがい　ぬい　機嫌が直る（87）
きんさんどぅ　～していいよ（45）
きんたぐぅぬ　ホウセンカの（31）
きんだぐに　島にんじん（23）
きんでゃー　～したよ（17）

く

くーよー　来てね（41）
くぐる　心（27）
くぐるがら　あたらき　うむい
心からかわいく思う（87）
くぐる　なだやしく
心やさしい（87）
くぐるむてぃ　気持ち（87）
ぐすぬはな　ハイビスカス（35）
くち　腰（11）
くちぶに　背中（11）
くとぅちん　いーくとぅゆ　あらみ
とぅらしわり
今年もよろしくお願いします(67)
くとぅば　ことを（19）
くとぅば　言葉（87）
くば　ビロウ（35）
くみんき　組に（27）
ぐや　にがうり（23）
くらしすたる　暮らしてきた（97）
くんが　買うの（41）
くんでぃどぅ　ある
やってくる（85）
くんちみてぃ　引き締めて（27）

さ

さしんだたん　ささげた（97）
さばん　湯飲み茶わん（15）
さるがてぃ　クロイワツクツク（37）
さんがい（き）　ガジュマル（35）
さんぎるん　下げよう（69）
さんさん　クマゼミ（37）
さんさんどぅ　クマゼミを（33）
さんにん　ゲットウ（35）

し

しがたや　姿は（55）
しくんき　準備して（71）
しまるー　終わろう（25）
しゃなぎどぅ　わるんがえー
うれしそうだね（75）
しんしんき　先生に（7）

す

すーがら　今日から（73）
すーぬ　今日の（21・23）
すーや
今日は（17・23・25・33・64・71・99）
すーん　今日も（13・19・25）
すいひ　連れていって（64）
すなてぃ　兄（9）
すみてぃ　染めて（31）
すむてぃ　本（21）
すむてぃどぅ　本を（21）
する　お盆（73）
する　うぐいうやい
お見送りしましょう（73）
するいてぃ　そろって（27）
するばん　そろばん（77）
する　んかいうやい
お迎えしましょう（73）
すんがてぃ　お正月（67）
すんでぃさー　いらっしゃい（41）

た

だーさぬ　お腹が空いて（23）
だーならいどぅ　家での習いが（85）
だーにんどぅ　家族（9）
たーん　誰か（41）
たぎや　高さは（55）
たたみぅらたん　教えてやった(97)
たてぃがみいてぃ　立神岩（55）
だなないどぅ　悪い習慣が（85）
だなむぬとぅ　悪い人と（85）
だならどぅ　気を付けて（25）
たばらりる（一）
いただきます（13・45）
だまとぅぬ　日本の（54）
たまな　キャベツ（23）
たまにゃ　たまには（43）
たんかぬ　だいんき
満一歳の誕生祝いに（77）
だんさる　悔しいのだ（97）
たんでぃ　どぅーでぃん
よろしくお願いします（19）

ち

ちぇー　着ろ（97）
ちたわる　伝わる（91）
ちにくら　ふくらはぎ（11）
ちま　島・故郷（91）
ちまとぅぶ　とうふ（23）
ちまぬ　島の（64）
ちまむぬい　しまくとぅば（99）
ちまん　島の（55）
ちむ　ささらんてぃ
胸さわぎがする（87）
ちむ　さびっつぁー
心さびしい（87）
ちむ　すらしどぅぐる
心の故郷です（55）
ちむ　だーみ　心が痛む（87）
ちむに　きみゃん　決意した（97）
ちむりさ　かわいそう（87）
ちむ　んてぃ　たらし
心が満ち足りる（87）
ちょーみん　帳面（77）
ちら　顔（11）
ちらびんぬー
調べてみましょう（91）
ちらびんぬぉー　調べてみよう（37）
ちりがらや　付き合えば（85）
ちりたや　付き合ったら（85）
ちる　おつゆ（15）
ちるまがい　汁わん（15）

つ

つぁりるん　～します（9・67）
つぁーばな　草花（33・35）
っかいらりたん　招待された（77）
っかいるー　行きましょう（43）
っかない　ぶん
飼育しています（54）
っかにぬん　使えない（85）
っかりるが　使えるが（85）
っかいんぬー　使ってみよう（99）
っくいあんがら
作ってあるから（69）
っくいてぃ　作って（69）
っくいぶさるんがら
作りたいから（33）
っくいんだぎ　作りましょう（91）
っくいんぬや　作ってみよう（33）
っくるー　作ろう（33）
っくわる　作った（33）
つたみ　紹介（お知らせ）（9）
つたみとぅらぬん
教えてくれない（21）
っていぶに　口（11）
っとぅいぬ　一人の（97）
っとぅち　ひとつ（69）
っとぅとぅ　方と（27）
っとぅぬ　人の（55）
っとぅんたや　人々は（55）
つまどぅぐい　昼休み（21）

て

てぃ　手（10）
てぃー　うさしてぃ
手を合わせて（71）
てぃだんが　太陽が（54）
てぃぬばた　手の平（10）
てぃん　空（85）
でぃー　さあ
（13・15・31・33・45・71）
でぃん　お金（77）
でぃかん　時間（13・21）
でぃんぐい　デイコ（35）
でぃんどぅ　お金を（77）

と

どぅ　～だよ（71）
どぅーさんぬだい　十三祝い（75）
とぅいかっていらぬとぅ
除かなければ（97）
とぅいんでぃひろー
取りに行こう（31）
どぅぐるどぅ　場所でも（55）
どぅぐるんでぃ　場所として（54）
とぅたるんでぃ
取ったんだって（77）
とぅちぬ　年の（69）
どぅったい　かったい
どちらかわからない（85）
どぅっとぅに　上手に（33）
どぅっとぅ　まいふな
良かったね（29）
とぅでぃちぬ　ソテツの（33）
どぅなん　与那国（21・55）
どぅなんちまぬ
与那国島の（54・55）
どぅなんむぬいし
与那国言葉で（97）
どぅにんぱ　オオハマボウ（35）
どぅぬくにてぃ　十六日祭（71）
とぅまどぅいきたん
まごついた（97）
とぅまいむら　泊村（7）
どぅみぶる　読んでいるよ（21）
どぅみ　ぶんが　読んでいるの（21）
とぅらしんに
～してちょうだい（39・99）
とぅんきる　伝える（87）
とぅんでぃ　撮りに（75）
とぅんでぃぶたる　出ていた（29）

な

なー　名前（7・37・99）
なーぬ　とぅーり　名前の通り（55）
ないぶる　～です（7・55・99）
ないや　今は（27）
ないがら　これから（19・27）
ないてぃ　～なって（17）
ないぶるゆ　～あります（55）
ながどぅぐいぬ　休み時間の（21）
なぐくい　鳴き声（37）
ならいてぃどぅ　習って（17）
ならいぶんが　習っているのか（19）
ならいんでぃ　習いに（33）
ならいんにゅー
習ってみましょう(85)
ならし　教えて（99）
ならぬたん　～していた（23）
ならぬんでぃ　ならないと（97）
なるんでぃどぅ　なりたいと（7）
なんぎる　投げる（27）
なんたはま　なんた浜（55）
なんとぅ　ナントゥ（23）
なんどー　～だよ（13）

に

にぐらるた　くんどぅんでぃぶたん
激怒した（97）
にちない　北か（85）
にでぃ　右（10）
にんとぅ　年頭（67）

ぬ

ぬー　何（21）
ぬー　あるばん　何でも（99）
ぬーかん　たまらなく（97）
ぬーば　何を（21）
ぬかやえー　何だろう？（23）
ぬどぅ　のど（11）
ぬば　何を（33）
ぬばが　何が（45）
ぬんに　何が（29）
ぬんにぬ　どんな（19）
ぬんに　ぶたんが　どうだった（77）
ぬんき　どれに（45）
ぬんでぃん　んだにた
何とも言えないほど（54）

は

ぱー　私の（9）
はーし　葉で（33）
はいない　南か（85）
はいばえー　食べてね（69）
はいむぬんが　食べ物が（43）
はいよー　食べなさいね（15）
はいんだげ　食べよう（45）
はいんでぃ　食べに（43）
はいんぬー　食べてみよう（69）
ばがらぬん　分からない（97）
はがんき　お墓に（71）
ばた　お腹（10）
ばたん　っくた　お腹いっぱい(69)
ばがりてぃ　分かれて（27）
ばす　バショウ（35）
ばす（ぬ）ない　バナナ（35）
ばすにゃ　ときには（21）
はた　ハチ（37）
はたらんぎてぃ　野イチゴ 35
はち　おはし（15）
ばちんなよー　忘れるなよ（25）
はでぃまるんどぅー
始まります（13）
はでぃみるん　始める（19）
はな　花（31）
はなしきー　んにに
話してごらん（99）
はなぶる　鼻（11）
はなんどぅ　花で（31）
はびる　チョウ（37）
はやぐ　早く（13）
はやたるんがら　早かったから（23）
ぱん　足（11）
ばんた　私たち（87・91）
ぱんぬうゆび　足の指（10）
ぱんぬくちぶに　足の甲（11）

ひ

ひーとぅらぬな　くれるかな（39）

ひーり　朝ご飯（13）
ひーりや　朝ご飯は（15）
ひたや　行けば（31）
ひっとぅいんが　一日が（13）
ひぴだ　ヤギ（37）
ひるどー　行きなさい（13）
ひるどぅ　帰りなさいね（25）
ひるば　行けば（31）
ひるん　行く（17）
ひろー　行こう（27・33）
びんが　男（9）

ふ

ふいばってぃー　笛を吹き（97）
ふ　食べる（85）
ふー　食べよう（13・15）
ぶーる　みんなで（71）
ぶーるし　合計（全部）で（41）
ぶーるぬ　みんなの（87）
ふいぶるんがら　降っているから(99)
ふかならい　外での習い（85）
ふかぬ　他の（33）
ふがらさ　ありがとう（41）
ふがんき　外に（43）
ぶたが　あった（29）
ぶたる　～だった（23）
ふでぃ　筆（77）
ふみらりたん　ほめられた（29）
ぶる　います（54）
ふんすんが　食べるのが（23）

ま

まー　もう（13）
まーかや　いいかな（45）
まーさぎさんがえー
　おいしそうだね（45・69）
まーしく　たくさん（69）
まーてぃ　似合って（75）
まーどぅ　美味しい（13・15）
まーる　美味しい（29）
まーるむのー　美味しいもの（45）
まいさるはびる　最大のガ（54）
まいどぅ　前で（27）
まいぬどぅ　稲の穂が（85）
まいふな　いい子（39）
まがい　茶わん（15）
まち　良い（45）
まち（き）　リュウキュウマツ（35）
まちり　祭り（64）
まっちゃる　好きな（45）
まっちゃる　うさい
　お供え物を（73）
まっちゃんすや　好きなのは（7）
まていかんていどぅ
　待ち遠しい（23）
までぃや　まずは（27・91）
まどぅん　一緒に（13・15・17）
まゆ　ねこ（9）
まりどぅ　生まれ（7）
まるはだが　真っ裸（97）
まんがえー　美味しいね（45）
まんがい　曲がり（85）
まんぐ　孫（9）

み

みー　目（11）
みーぬふぁぬ
　南東部（巳の方角）（55）
みーみぬ　実らない（85）
みきりゃ　探せば（31）
みきんでぃ　探しに（31）
みきんぬやー
　探してみましょう（91）
みぐとぅな　見事な（64）
みぐとぅどぅー　見事です（55）
みしやに　お店にて（41）
みしゃん　お店（39）
みた　ニワトリ（37）
みぬまゆ　まゆ（11）
みぬんが　女（9）
みぬんが　あがみてぃ　少女（97）
みんぶる　顔（10）

む

むち　昆虫（37）
むちかさん　難しい（21）
むちばぐ　虫カゴ（33）
むちばぐんきや　虫カゴには（33）
むてぃ　むーちー（69）
むぬがら　ものから（45）
むぬどぅー　ものだ（64・85）
むぬんがどぅ　ものが（29・85）
むぬぬたてぃ　ことわざ（85）
むむ　もも（11）

や

やー　やあ（17）
よい　（目下の人に対する場合）
　はい・うん（19・21）

わ

わー　ブタ（37）
わーしき　天気（17）
わるかやー　いますか（41）

ん

んーちみ　しっかり（きちんと）(15)
んかちむぬがたい　昔物語（21）
んかるんどぅ
　お迎えしましょう（73）
んくてぃ　赤ちゃん（9）
んさいわるかや　こんにちは（7）
んさかや　いいかな（31）
んさたや　良ければ（54）
んざたんがえー　良かったね（17）
んさんどぅあるない
　良いだろう（43）
んさんどー　いいよ（21）
んしゃる　いるね（75）
んだい　左（10）
んたく　頭を立てる（85）
んだみ　カタツムリ（37）
んだや　君は（97）
んだらんえー　かわいいね（77）
んでぃどぅ　～と言って（55）
んでぃぶいてぃ　呼んでいて（55）
んでぃひるん　行く（27）
んでぃぶる　言っている（54）
んなにんが　着物が（75）
んなりる　見える（54）
んなりるんすんがどぅ
　見られるのが（97）
んに　米（39）
んにんでぃ　見に（64）
んぬ　この（55）
んぬぬ　昨日の（17）
んび　おしり（11）
んぶち　ひざ（10）
んまんき　どこに（31）
んみんき　爪を（31）

ふ〜ん

◆【写真提供】

石垣市市史編纂室：アンガマー（62p）／マユンガナシー（63p）／ハーリー（63p）／豊年祭　ツナヌミン（63p）

与那国町教育委員会：ナントゥ（23p）／立神岩（55p）／棒おどり（64p・65p）／どぅんた（64p）／タティウサイ（65p）／ミティウタ（65p）／久部良豊年祭（65p）／祖納豊年祭（65p）　**アヤミハベル館**：ヨナグニサン（あやみはびる）（54p）

竹富町教育委員会：竹富島の家屋敷（53p）／ピナイサーラーの滝（53p）／仲間川（53p）／波照間のムシャーマ（63p）／西表のシツマツリ（63p）／竹富のタニドゥリ（63p）／小浜の結願祭（63p）　**南山舎**：赤馬の像（90p）

宮古島市教育委員会：島尻のパーントゥ（60p）／城辺上区の獅子舞（61p）／川満棒踊り（61p）／うるかクィチャー（61p）／ヤーマス御願（61p）／池間のクイチャー（61p）／友利クイチャー（61p）／友利獅子舞（61p）／松原の獅子舞（61p）

久志区公民館：久志の若按司・みんじょーがなしー（58p・59p）

名護市教育委員会：屋部の八月踊り（59p）

座間味村教育委員会：海神祭（57p）

沖縄県立総合教育センター：リュウキュウバライチゴ（34p）

沖縄観光コンベンションビューロー：そば（22p）／ゴーヤーチャンプルー（22p・23p）／ラフテー（22p）／ソーメン（22p）／そーき（22p）／魚の塩煮（23p）／アーサ汁（23p）／ゆしどうふ（23p）／とうふ（23p）／デイゴ（34p）／ハイビスカス（34p）／アカギ（34p）／バナナ（34p）／イジュ（34p）／オオハマボウ（34p）／リュウキュウマツ（34p）／白銀堂（46p）／勝連グスク（47p）／沖縄こどもの国（47p）／玉泉洞（47p）／美ら海水族館（48p）／恩納村のビーチ（48p）／古宇利島（48p）／通り池（51p）／那覇ハーリー（56p）／那覇大綱曳き（57p）／獅子舞フェスティバル（57p）／全島エイサー祭り（57p）／与那原大綱曳き（57p）／糸満ハーレー（57p）／塩屋ハーリー（58p）／塩屋のウンガミ（59p）／安田のシヌグ（59p）／安和のウシデーク（59p）

写真撮影：宮城一春／合資会社 沖縄時事出版編集部

◆【主要参考文献】

『沖縄語辞典―那覇方言を中心に―』内間直仁・野原三義 < 2006(平成 18) 年 > 研究社
『沖縄古語大辞典』沖縄古語大辞典編集委員会編 < 1995(平成 7) 年 > 角川書店
『沖縄語辞典』国立国語研究所 < 1963(昭和 38) 年 > 大蔵省印刷局
『沖縄今帰仁方言辞典』仲宗根政善 < 1983(昭和 58) 年 > 角川書店
『沖縄語の入門―たのしいウチナーグチ―』西岡敏・仲原穣他 < 2000(平成 12) 年 > 白水社
『うちなあぐち考』野原三義 < 1992(平成 4) 年 > 沖縄タイムス社
『うちなあぐちへの招待』野原三義 < 2005(平成 17) 年 > 沖縄タイムス社
『高校生のための郷土のことば』野原三義・内間直仁・中本謙・田名裕治 < 2014(平成 26) 年 > 沖縄県教育委員会
『語てぃ んーだな しまくとぅば』しまくとぅば普及推進専門部会 < 2014(平成 26) 年 > 沖縄県文化観光スポーツ部
『使って遊ぼうしまくとぅば』那覇市教育委員会学校教育課編 < 2013(平成 25) 年 > 那覇市
『新編　沖縄の文学』沖縄県教育文化資料センター、波照間永吉監修 < 2003(平成 15) 年 > 合資会社沖縄時事出版

しまくとぅば読本

◆ 監　修　野 原　三 義　沖縄国際大学名誉教授
加 治 工　真 市　沖縄県立芸術大学名誉教授
西 岡　敏　沖縄国際大学総合文化学部教授
中 本　謙　琉球大学教育学部准教授
仲 原　穣　琉球大学他　非常勤講師

◆ 編　集　「しまくとぅば読本」制作委員会

◆ 発　行　沖縄県文化観光スポーツ部　文化振興課
〒 900-8570　沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

◆ 協　力　沖縄県教育庁　義務教育課
〒 900-8570　沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

◆ 発行日　2015 (平成 27) 年 3 月 27 日

◆録音話者　野原三義（那覇言葉）／宮里健一郎（久志言葉）／
下地トミ子（平良言葉）／石垣博孝（四箇言葉）／
宮良康正（与那国言葉）

◆各地域のアドバイザー
宮里健一郎（北部）、上原仁吉、山入端津由／下地トミ子（宮古）／
石垣英和、宮良長久、石垣博孝（八重山）／
宮良康正、田原伊明（与那国）

◆イラスト　当山百合子

◆録音協力　眞榮城茅奈実（沖縄国際大学放送研究部）

◆制作・印刷　合資会社 沖縄時事出版
代　　表　名幸諄子
編集責任　呉屋栄治
構成・原案・原稿執筆　宮城一春

※この本には、著作権および出版権がありますので、原則として無断転載を禁じます。但し、しまくとぅばの普及・継承につながる非営利目的の場合は、その限りではありません。また、転載する際には、沖縄県文化振興課まで許可を得るようにして下さい。

電子書籍（EPUB）リーダーについて

本書に付いている CD には電子書籍（EPUB）のデータがあり，それぞれの音声データを収録しています。電子書籍を読むには，EPUB3.0 に対応するリーダーをご利用ください。推奨するリーダーの利用方法を下記に説明しています。

↑ Readium（英語版のみ）

Macintosh をご使用の方は iBooks でも読むことが出来ます。

■ Readium（Windows, Mactintosh）

① Google Chrome（無料のブラウザ）をパソコンにダウンロードしてインストールします。Google アカウントは新規作成，または，お使いのメールアドレスでも登録できます。（Win 版，Mac 版それぞれの対応ページにて行って下さい。）
https://www.google.co.jp/chrome/browser/desktop/

② Readium をダウンロードして，Google Chrome ブラウザにプラグインします。　http://readium.org/

③ 電子書籍（EPUB）の保存場所を選んで，「本の追加」ボタンをクリックします。

④ 音声を聞く時は，各ページにあるラジオボタンを押すと再生が始まります。

※ CD に収録されている内容は、話者によって本文とは異なる場合があります。